

代理法/菊池武夫(講義) ; 山口正毅(編輯)
(英吉利法律講義録(1886(明治 19)年度 第 1 年級))

このPDF ファイルは、英吉利法律講義録(1886(明治 19)年度 第 1 年級)(原裝本デジタル・データ)から、代理法の部分を抽出して編集したものである。

2015 年 7 月 中央大学大学史資料課

代理法

米國法律學士 菊池 武夫 講義

校 友 山口 正毅 編輯

代理ノ沿革

今日ヨリ余ハ代理法ヲ諸君ニ講義スルコト、ナレリ前學年ニハ山田君カ講義セラレテ其結果ハ一部ノ書物トナリタリコレハ諸君カ所持セラル、所ノ講義録ノ集リタルモノナリ余ハ大抵此書物ノ順序ニテ講義セント思フニヘニ諸君ハ前年ノ講義録又ハ此書物ニ依テ十分下ヲ讀ヲ爲サル、ノ便利ヲ得ラルヘシ尤モ余ハ此書物ノ中ニ記シ在ル通りニ講義スルニアラス大体ノ順序ニ付テハ此書物ニ依ル積ナリ全体代理ト云フコトハ如何ナルモノナルヤト云フニ一人ノ人カ自分ハ何モ手ヲ着ケスシテ他人ノ爲シタルコトニ付キ權利ヲ有シ義務ヲ

代理法

帶フモノニシテ誠ニ奇妙ナルコトナリ自分ノ爲シタル事柄ヨリシテ
其結果自分ニ歸スルハ固ヨリ當然ノ事ナルニ左ハ無クシテ自分ハ何
モ爲サ、ルニ其レヨリシテ利益ヲ享ケ損失ヲ招クハ今日ニ在テコソ
當然ノ如ク思ハルレトモ能ク考ヘテ見レハ奇妙ナルコトニソアル
サテ此書物ニモ記シ在ル通り昔ハ代理人ノ關係ハ本人及代理人ノ身
分ヨリ生シタルモノナリ而シテ此事ヲ知ルハ單ニ古實ヲ尋ヌルノミ
ナラス之ヲ能ク記憶セサルトキハ今日ノ代理法中解シ得ヘカヲサル
コト往々アレハ一言以テ代理ノ沿革ヲ講セントス
モト何レノ社會ヲ問ハス大抵奴隸ノ制度行ハレタルモノト見ヘタリ
而シテ奴隸ハ其主人ノ財産ニシテ人間ノ體ハアレトモ法律上ハ死物
ト同シク又牛馬ト異ナラス法律ノ前ニ立テ權利ヲ有スルコトモ無ク
又多クノ場合ニハ義務ヲ負フコトモ出來サリシナリ其當時ノ法律ヨ

リ見レハ世ノ中ニハ奴隸ナシト云フモ可ナリ若シモ其奴隸ニシテ他人ト契約ヲ爲スコトアランニ奴隸ハ法律上權利ヲ享有スルコトヲ得サルカユヘニ其契約ヨリ生スル權利ハ奴隸ニアラスシテ主人ニ在リ又其爲シタル契約ヲ破ルコトアランニ奴隸ハ牛馬同様ナレハ其責ハ奴隸ニアラスシテ同シク主人ニ歸ス今一層烈シク云ヘハ主人ハ其奴隸ヲ手打ニスルモ勝手ニシテ若シ奴隸カ他人ヲ毆打スル如キコトアレハ主人ハ其責ヲ負フ制度ナリシナリ畢竟法律ノ作用ハ主人即自由人ノ上ニ止リテ奴隸ノ制御ハ全ク之ヲ主人ニ任シ法律ノ度外ニ置キタルナリサテ此奴隸カ主人ノ爲メニ或事ヲ爲シタルトキハ其事ノ結果ハ主人ニ歸スル風俗ノ流行時ヲ經ルニ從ヒ一人ノ人カ他人ノ爲メニ事ヲ爲シ其事ノ結果ハ自分ニアラスシテ他人ニ歸スルト云フ考ノ範圍廣クナリ遂ニハ奴隸ニアラサルモ一人ノ人カ事ヲ爲シ其利害他

人ニ歸スル様ニ移行キタリ然ラハ自由人間ニ甲カ乙ノ爲メニ或事ヲ
 爲シ其結果甲ヲ飛テ乙ニ歸スル場合ニ甲ハ奴隸トナルヤ即身分ヲ失
 フヤト云フニ否ラス奴隸ハ奴隸タルカユヘニ主人ノ用ヲ達セサルヲ
 得ス主人ハ主人ノ身分アルカユヘニ其奴隸ヲ使役スルノ權アレトモ
 自由人カ自由人ニ用事ヲ爲サシムルトキハ賴談セサル可ラス即契約
 セサル可ラス代理ノ關係契約ニ因テ生スルカユヘニ甲ハ自由人タル
 分限乃チ身分ヲ失ハスシテ乙ノ爲メニ事ヲ取計フコトヲ得ヘシコレ
 カ今日云フ所ノ代理ナリ何トナレハ今日ノ代理人ハ其一己ノ自由ノ
 民タル分限ハ失フコトナクシテ唯委託セラレタル事柄ニ付キ委託者
 ヲ代表スルノミナレハナリ其他ノ事ニ付テハ代理者ト爲リタルカタ
 メニ自分一個ノ資格ヲ失フモノニアラサルナリ乃チ古ハ主人ト奴隸
 トノ間ノ外今日云フ代理テフモノナカリシカ漸クニ播マリテ自由人

ト自由人トノ間ニモ代理行ハル、ニ至リシナリ以上ハ代理ノ沿革ナ
ルカ何故ニ此沿革ヲ知ルカ必要ナルヤト云フニ本ト主人ト奴隸トノ
間ニ行ハレタル法律ハ類推ニ因テ自由人ト自由人トノ間ノ代理ノ關
係ニモ適用セラレ、ニ至リシユヘニ今日代理法ノ規則中ニハ猶主人
ト奴隸トノ間ニ曾テ適用シタルモノアルコトナリ而シテ之ヲ記憶セ
サルトキハ今日ノ自由人間ニ何故ニ斯クノ如キ法律アルヤト往々疑
ナ懷クコトアルユヘニ豫メ右ノ沿革ヲ解シ置カサル可ラサルナリ山
田氏ノ英米代理法ニ代理ノ關係ハ往古身分ヨリ生シタルモノナレト
モ今日ハ契約ヨリ生スルト記シタルハ上陳ノ次第ヲ略述シタルモノ
ナリ

サテ余ハ本人又ハ代理人ト云フ語ヲ用ヒシカ此等ハ世ニアリフレタ
ル語ナレハ説明セス加之本人トハ如何ナルモノヲ云ヒ代理人トハ何

代理法

人ヲ指シ代理法トハ何物ナリヤト云フコトハ改メテ申スニモ及ハサルナリ

備考

獨立ナル能力者ハ自己ノ爲スヘキ事柄ヲ他人ニ托シテ之ヲ爲サシムルコトヲ得ルモノニシテ其事柄ヲ托シタルモノヲ本人ト云ヒ其托セラレタルモノヲ代理者ト云フ

本人ト代理者ノ關係ヲ代理ノ關係ト稱ス

代理法トハ代理ノ關係ヨリ生スル本人及代理人間ノ權利義務及第三者ニ對スル權利義務ヲ論述スルモノナリ
 (山田氏英米代理法第一丁及第二丁)

依テコレヨリ本人タルノ資格ヲ講述セン即何人カ本人ト爲リ得ルヤト云フ問題ニ答ヘン

本人及代理人ノ資格

何人タリト雖法律上自ラ爲シ得ル事柄ハ他人ニ任シテ之ヲ爲シ得ル
 ト云フハ原則ナリトス言テ代ヘテ云ヘハ法律ニテ自ラ爲スコトヲ許
 サレタル事柄ニ就テハ本人ト爲ルヲ得
 通常此規則ノ例外トシテ結婚婦幼年者ヲ掲ケリ何トナレハ結婚婦幼
 年者ハ種々法律ニテ能力ヲ制限セラレ居レハ常ニ本人ト爲ルヲ得サ
 ルナリ然リト雖コレ例外ニアラス何トナレハ結婚婦又ハ幼年者ノ本
 人タルヲ得サル場合ハ自ラモ其事柄ヲ爲スヲ得サル場合ナリ故ニ原
 則ノ自ラ爲スヲ得ル事柄ト云フニハ更ニ抵觸セサルナリ然レトモ此
 原則ニハ例外ナキニアラス事柄ニ依テハ其國ノ法律ニテ他人ニ委託
 スルコトヲ禁スルコトアリ即政略上又ハ其他ノ原因ヨリシテ是非本
 人ニ之ヲ爲サシムルコトアリ例ヘハ離婚ノ訴狀ニハ必ス自ラ署名セ
 サル可ラス或ハ身代限ヲ願フトキハ自ラ名ヲ署スル如キ或ハ婚禮ハ

他人ヲシテ代理セシムルヲ得サル如キハ皆眞ノ例外ナリ
次キニ代理者タルノ資格ヲ云ハシ乃チ何人カ代理者ト爲リ得ルヤ、サ
テコノ原則ハ何人タリトモ代理者タルヲ得ルト云フニ在リ故ニ自ラ
能力ヲ備ヘサル人ニテモ他人ノ代理者ト爲ルヲ得ルナリ例ハ結婚
婦幼年者モ代理人ト爲ルヲ得ヘシ本人ト爲ルニハ能力ノ制限アリト
雖代理人ト爲ルニハ制限ナケレハ固ヨリ結婚婦幼年者ニテモ代理人
ト爲ルヲ得況ンヤ能力者チャ例ヘハ明治六年第二百十五號ノ代人規
則ヲ見テモ明カナリ又佛國民法千九百九十條ヲ參看スレハ本人ト爲
ルヲ得サルモノモ代理人ト爲リ得ト在リ併シ此原則モ本人ノ資格ト
同シク少シク例外アリ即或人ハ代理人ト爲ルヲ得サル場合アリ其最
初ノ場合ヲ掲クレハ同一ノ人ニシテ同時ニ反對ノ位地ニ立ツ人々ノ
代理者トナルヲ得サルコト是ナリ例ヘハ原告ノ代言人カ被告ノ代言

人ト爲ルヲ得サル如キコレナリ併シ此例外ノ規則ト云テモ何レノ場
 合ニテモ適用サル、モノニアラス代理者カ自己ノ料見ヲ用ヒサル可
 ラサル場合ニ限ルナリ例セハ余ハ然ルヘキ價ニテ此書物賣却ノ事ヲ
 甲ニ依頼シタルトキハ甲ハ余ノ代理人ナラン其場合ニ甲ハ買手ノ代
 理人ト爲ルヲ得サルヘシ何トナレハ甲ハ自己ノ料見ヲ用ヒテ成ル可
 シ高價ニ賣拂ハサル可ラサルニ若シ買手ノ代理人ト爲ル時ハ成ル可
 シ低價ニ買受サル可カラサルカユヘニ買手ノ爲メニ相當ノ料見ヲ用
 ントセハ買手ノ爲メニ同様ノ料見ヲ用フ可カラサルヲ以テナリ然リ
 ト雖代理人ノ爲ス事カ本人ノ命令通りニ爲スニハ單ニ手業ヲ用ヒテ
 足ルトキハ假令本人等ハ反對ノ位地ニ立ツ人々タリトモ其代理人ト
 爲ルヲ得之ヲ解明セハ西洋ノ競賣ヲ爲スモノハ通常賣手ノ代人コシ
 テ成ル可シ高價ニ賣ルコトヲ力ムルカ一旦糶落トナルトキハ買手ノ

る Mortgagor

を Mortgagee

代人トシテ其名ヲ書クヲ得ルナリ何トナレハ署名スルニハ單ニ手業
 用ヲフルニ過キサレハナリ
 又一ノ例外ハ反對ノ位地ニ立ツ人カ其相手方ノ代理人ノ位地ニ立ツ
 ヲ得ス前ノ場合ニ似寄タル例ヲ擧クレハ原告ハ被告ノ代理人ト爲ル
 ヲ得ス併シコレ亦利益ヲ異ニスルトキニ限ルモノナリ即チ賣手ト買
 手原告ト被告ノ如キハ利益ヲ異ニスルユヘ互ニ代理人ト爲ルヲ得サ
 ルモ利益ヲ異ニセサルトキハ反對ノ位地ニ立ツ人ト雖代理人トナル
 ヲ得ヘキナリ例ヘハ質置主甲ト質取主乙トハ利益ヲ異ニスルモノナ
 リト雖質物ヲ賣却セントスルトキハ乙ヨリ甲ニ賣却ヲ委任スルコト
 ヲ得ヘシ何トナレ質置主モ之ヲ高價ニ賣リテ利益ヲ得ントスルハ勿
 論乙モ成ル可ク高ク賣リテ損失ヲ招カサルヲ望メハナリ斯ル場合
 ニハ利益ヲ同スルユヘ代理人ト爲ルヲ得即平常ハ利益ヲ異ニスト雖

十

十

た
れ
か
よ
Previous authorization
Ratification
Express anuthoriyation
Implied authorization

法 委任ノ方 Appointment of agent

委任ノ方法

モ格段ノ場合ハ利益ヲ異ニセサレハナリ必竟スルニ利益ヲ異ニスル
トキハ代理人ト爲ルヲ得スト思惟スヘシ斯ノ如ク互ニ代理人ト爲リ
テ其結果悪シキトキハ法律カ之ヲ禁スルモノナリ右二個ノ例外ヲ除
クノ外如何ナル人ニテモ如何ナルトキニテモ代理人ト爲ルヲ得ルナ
リ
コレヨリ代理人ヲ任スル方法ヲ述ヘン即如何シテ代理人ヲ命スル
ヤ
此代理人ヲ命スル方法大凡ニアリ
一 預任
二 後任 (又ハ追認ト謂フ)
尙他ノ點ヨリ別チテ明意委任包意委任ノ二トス

代理法

十一

通常ハ預任ノ方法ナリ又通常ハ明意ヲ以テ委任ス時トシテハ委任ナ
キ人或事ヲ爲シテ後本人カ其者ヲ代人ト認ムルコトアリ是ヲ後任又
ハ追認ト云フ又何トモ言ハスシテ暗黙ニ其人ヲ代理人トスルコトア
リ之ヲ包意ノ委任ト云フ例ヘハ余ノ書物ヲ那所マテ持參スヘシト命
スルトキハ豫任ニシテ且明意ノ委任ナレトモ余ハ黙シテ之ヲ余ノ車
夫ニ渡し車夫ハ余ノ意ヲ察シ余ノ宅ニ持參スル場合ハ豫任ナレトモ
包意ノ委任ナリ又例ヘハ余ノ僕頼マレモセヌニ平生余ノ宅ニ出入ヌ
ル商店ヨリ物品ヲ買取り來タルニコレハ余ノ僕ノ買タル物ユヘ余ノ
物トシテ代價ヲ拂フト明言スレハ後任ニシテ明意ノ委任ナリ又其時
黙シテ其物ヲ使用セハ同シク追認ナレトモ包意ノ委任ナリ故ニ明意
ノ時ニテモ包意ノ時ニテモ預任アリ後任アリ又豫任ニモ後任ニモ明
意アリ包意アリト知ルヘシ畢竟一ハ時ノ點ヨリ區別シ一ハ形容ノ點

ヨリ區別ヲ立タルモノナリ
何人ナリトモ委任者ノ意志ナクシテ其代理者ト爲ルヲ得スト云フ格
言アリ併シ此意志ハ種々ノ方法ニテ示スコトヲ得書面ニテモ言語ニ
テモ又ハ所作ヨリシテ委任ノ意志ヲ表示スルコトアリ故ニ先明意ノ
委任ヨリ講セン
明意委任トハ書面又ハ言語ニテ爲スモノナク云フ英吉利ニテハ書面ニ
種々アリテ捺印證書ニテ委任スルコトアリ又ハ無印證書ヲ以テ委任
スルコトアリ捺印證書ヲ以テ委任スル場合ハ古ニ多クシテ今ハ少ナ
シ古ハ代理人ヲ命スルニハ必ス捺印證書ヲ用フヘシトシ恰モ今日我
國ノ習慣ト同様ナリシ即前ニ引キタル布告第五條ニ何事ヲ委任スル
ニモ委任狀ヲ渡スヘシトアリ佛國民法千九百八十五條モ又同シ併シ
乍ラ漸々社會ノ進歩スルニ從ヒ萬般ノ事頻繁トナレハ都度々々捺印

ノ如キ手重キコトヲ爲シテ居ラレテハ英米國ニテハ捺印証ヲ必要ト
 スル區域漸次ニ狹ク爲リタリ左レハニヤ日本ノ彼ノ布告五條中ニモ
 例外アリ例ヘハ手代ノ商店ニテ主人ノ用ヲ達スルニハ委任狀ヲ要セ
 ストセリ唯英吉利ニテ捺印ノ委任狀ヲ要スルニハ其代理人ノ爲スコ
 トカ捺印證書ヲ要スル事柄ニ限レリ例ヘハ土地ノ賣買ヲ依頼スルト
 キノ如キ是ナリ
 前ノ捺印証書ヲ要スル場合ヲ除クノ外何様ノ事柄ヲ爲サシムルトキ
 ニテモ無印證書即署名ノミアル通常ノ書面ヲ以テ代理委任ヲ爲シテ
 可ナリ而シテ法律ニテハ一定ノ書式モ無ク又捺印ノ場合ニ於ケルカ
 如ク委任ノ事柄書面ヲ要スルモノナル時ハ書面ニテ委任ス可シトノ
 規則モナシ又捺印證書ノ必要ナキトキ捺印ノ委任狀ヲ用フルモ善シ
 大抵ノ場合ニハ口上ニテ吩咐スルヲ多シトス

次ニ包意委任ノコトヲ云ハン
 包意委任ニハ種々ノ方法アリテ本人カ以前ニ爲シタル所作若クハ習
 慣ヨリシテ包意委任生スルコトアリ例ヘハ余カ毎々或人ヲ或書店ニ
 遣ハシ定時刊行ノ雜誌ヲ購求セシメタル時ハ余ノ所爲ニ依テ其後モ
 其人余ノ代理人トナルナリ故ニ再ヒ其人書店ヨリ同様ノ書物ヲ買フ
 タルトキハ余ノ爲メニ買フタリト推測ス一度他人ヲ使フタレハトテ
 何レノ場合ニテモ此推測生スルコトニアラサレトモ往々此類ノ委任
 アルモノナリ
 前回ニハ包意委任ノ第一類乃チ本人タルモノ、以前ノ所作又ハ習慣ヨ
 リシテ代人ト推測セラル、コトヲ云ヘリ其折例ヲモ申シタルカ又本
 人従前ノ所作又ハ習慣ヨリ代理委任ノ生スル外ニモ包意委任ノ生ス
 ル場合アリ例ヘハ甲ナルモノ商店ヲ有スルニ其商店ニ居ル乙カ商品

ナ客ニ賣ルヲ甲ハ見ナカラ更ニ之ヲ差止メサルトキハ乙ハ甲ヨリ商
 品賣却ノ委任ヲ爲サレタルモノト推測セラル、ナリ何トナレハ甲ニ
 乙ヲ代理人トスルノ意ナケレハ直ニ乙ノ所爲ヲ差止ムルコト正當ナ
 ルヲ以テナリ抑代理人タルモノ、爲シタルコトヲ知リツ、本人タル
 モノハ何事ヲモ爲サス又何ヲモ云ハスシテ居ルトキハ代理委任ノア
 ルヤ否ヤト云フコトハ時ト場合トニ由リテ定マルモノニシテ一定ノ
 規則アルコトナシ只規則ト云フヘキハ斯クノ如キ場合ニハ本人タル
 モノハ相當ノ時間内ニ委任ヲ爲サ、ルトノ意ヲ先方ニ通セサル可ラ
 ス否ヲサルトキハ通常ハ包意ノ委任アルコトヲ推測セラル、ナリ
 コレマテ申シタル所ハ本人ノ所作又ハ習慣ヨリシテ代理委任ノ推測
 生スルコトナルカ諸君其例ヲ能ク考察セハ其中ニ豫任モアレハ後任
 モアリ乃チ前回ニ余カ引ケル例ニ余ノ僕カ物品ヲ買取り來タルヲ余

ノ物品ト認ムルカ如キハ後任ノ場合ニシテ今引ケル商店乙ノ物品ヲ
賣ル如キハ豫任ナリコレ皆包意委任ノ中ニ含ムモノナリ
又包意委任ハ人ノ關係ヨリ生スルコトアリ是ヲ包意委任ノ第二類ト
ス例ヘハ英吉利法律ニテ人ノ妻カ家事ニ付テハ始終夫ニ代リテ事ヲ
爲スノ權アリ即妻タルモノハ家事向ニ付テハ夫ノ代理者ナリ然ルニ
此代理權ハ夫ヨリ明任スルコト稀ナリ魚屋八百屋ヨリ魚菜ヲ求メ吳
服屋ヨリ衣服ヲ調フルハ通常妻タルモノ、役割ナルニ右等ノ取計ヲ
爲スニハ別段夫ノ委任ヲ受クルコト少ナク亦其委任ヲ要セサルナリ
魚菜衣服ノ代價支拂滯リタレハトテ商人ヨリ妻ヲ訴タル例及夫ハ妻
ニ委任シタルコトナシトテ其支拂ヲ免レタル例ハ英國ノミナラス本
邦ニ於テモ聞タルコトナシ即妻ノ代理權ハ夫婦ノ關係ヨリ生スルモ
ノナリ

又組合員ハ互ニ本人代理人タル權力ヲ有スルモノナリ〔組合法ニテ諸君ハ聞カル、コトナリ〕コレヲ詳ニ云ヘハ甲乙二人組合ヲ爲シテ一ノ商業ヲ營ムトキハ甲乙何レモ一人ニテ商買ヲ爲スヲ得ルモノニシテ別段他ノ組合員ノ明意委任ヲ要セサルナリ乃チ甲ノ商買ヲ爲ストキニ乙ヨリ委任ヲ受クルニ及ハス又乙ノ商買ヲ爲ストキニ甲ヨリ一々委任ヲ受クルニ及ハサルナリ何トナレハ若シ甲乙互ニ委任ヲ受ケサル可ラストスルトキハ實際商買ヲ爲スコトヲ得サルニ至ル可ケレハナリ然ルニ甲乙互ニ代人ト爲リ得ルハ組合ト云フ兩者間ノ關係ヨリ生スルモノナレハコレ又代理カ人ノ關係ヨリ生スル一例ト云ヘキナリ

又包意委任ハ必要ヨリ生スルコトアリ是ヲ包意委任ノ第三類トス英米國ノ法律ニテ尤通常ノ例ハ船長ナリ船長ナルモノハ遠ク海外ニ涉

テ船主ノ用ヲ足スモノナレハ遠國ニ在ルトキ船ノ破損ヲ修覆シ或ハ
 自分及船子ノ爲メニ食料ヲ買入サル可ラス故ニ場合ニ依テハ船長ハ
 船ノ修覆又食料ノ買入ヲ爲ス權アリ而シテ此權力ハ強キ船主ヨリ書
 面又ハ口上ニテ委任セラレタルニアラス乃チ明意ノ委任ナキモ代理
 權ヲ有スルコト、ナレリコレ必要ヨリ生スルモノニシテ必要アルカ
 ヲハ此代理ノ權ヲ與ヘタルモノト推測スルナリ
 又横濱ニ在ル商社員ハ大抵龍動又ハ紐育ノ商社ノ代人ナリ英語ニテ
 之ヲ「ブワクトル」ト云ヒ又「コムミツシヨン、マルチヤント」ト云フ（仲買人）
 此等ノモノハ荷主ヨリ托セラレタル物品ノ腐敗スル恐アルカ又ハ破
 損スベキ性質ノ物ニシテ到底永ク留メ置クヲ得サルモノナルトキハ
 之ヲ賣却スル權ヲ有ス乃チ賣却セサル可ラサル必要アルトキハ之ヲ
 賣ルヲ得ルナリコレ又明任ナキモ必要ヨリ代理權ヲ生スル一例ナリ

又包意ノ委任ハ代理人タル者、業体乃チ營業ノ性質ヨリ生スルコト
アリ是ヲ第四類トス之ヲ説キ明スニ例ヘハ甲ナルモノヨリ品物ヲ競
賣人乙ニ送ルトキハ甲ヨリ何等ノ傳言ナキモ乙ハ該品物ヲ競賣ニス
ルコトヲ委任セラレタルモノト推測セラル、ナリ何トナレハ乙ハ競
賣ヲ營業トスレハ其人ニ物品ヲ送ルハ之ヲ競賣ニ付シ吳レヨトノ意
ヨリ生スルモノトスルコト正當ナレハナリ尙ホ結果ニ付テ申セハ乙
カ其物品ヲ賣リタルトキハ甲ハ其結果ノ責ヲ負ハサル可ラサルナリ
然シ乍ラコレハモト營業ノ性質ヨリシテ生スルモノナレハ若シ甲カ
貸藏主ナル丙ニ品物ヲ送リタリトセンニ貸藏主ハ之ヲ賣拂フヲ得サ
ルナリ其時ニハ唯該品物ヲ預リ置クニ止マルナリ何トナレハ貸藏主
ノ營業ハ性質上品物ヲ賣却スルヲ主トセサレハナリ
以上ハ包意ノ代理委任ノ生スル方法ヲ云ヘリコレヨリ他ノ點ヨリ區

別シタル代人ヲ任スル方法中ノ預任後任ノコトヲ申スヘキナレトモ預任ノコトハ云ハサルモ明瞭ナリ只後任ノ性質ニ付キ解シ難キコトアルユヘ之ヲ説明セントス

通常他人カ委任ナクシテ我カ爲メニ或事ヲ爲シタルトキハ我ハ其利益ヲ受クルヲ得サルナリ又其損害ヲモ蒙ルコトナシ併シ乍ラ其委任權ナキモノ、爲シタル事柄ヲ後日我ニ於テ認許スレハ通常受ク可ラサル利益ヲ受ケ通常蒙フル可ラサル損害ヲ蒙ラサル得サルコト宛モ當初ヨリ代理ヲ委任シタル場合ト同様ナリ是ヲ後任ヲ又ハ追認ト謂フ此追認ノ規則ノ無理ナラサルコトヲ説明サン例ヘハ甲ハ乙ヨリ委任ナクシテ乙ノ爲メニ品物ヲ丙ナル者ニ賣リタリトセンニ乙カ後日ニ至リ甲ノ爲シタル賣買ヲ認ムルトモ少シモ丙ノ位置ヲ變スルコトナキモノナリ何トナレハ丙若シ始メヨリ甲ハ乙ノ委任ヲ受ケテ該品物

ヲ賣却スルモノナリト信シタルトキハ後ニ至リ乙カ甲ノ所爲ヲ認ム
 ルトモ結果ハ當初丙ノ信シタル通りナルヲ以テ丙ノ位置ハ毫モ變ス
 ルコトナシトス若シ亦丙ハ當初ヨリ甲ニ代理權ナク實際甲自身カ本
 人ナリト信シタルトキハ後日乙ハ甲ノ所爲ヲ認メ例ヘハ賣品代價ヲ
 請求スルトモ丙ハ甲ニ對スル丈ノ權利ヲ乙ニ向テ主張スルコトヲ得
 ルナリ乃チ若シ丙ハ甲ニ對シテ差引勘定アレハ之ヲ乙ニ對シテ爲ス
 ナ得ヘシ又丙ハ乙ヲ對手トシテ出訴スルチ好マサルトキハ始メヨリ
 自分ノ本人ナリト信シタル甲ヲ對手トシテ訴フル權アリ故ニ乙カ甲
 ノ所爲ヲ追認シタリトテ丙ナル第三者ノ位置ニハ少シモ害ヲ及ホス
 コトナキユヘ追認ヲ預任ノ如ク取扱フテモ妨ケサルト云理窟ニ外ナ
 ラサルナリ

モト追認又ハ後任ト云フハ代人ト自稱スルモノカ眞ニ代理權ヲ有セ

追認ヲ爲
スニ付テ
ノ要件

サルトキ又ハ代理權ヲ有スルトモ其權限ヲ踰ヘタルトキニ必要ナリ
固ヨリ本人ヨリ與ヘラレタル通りニ代理權ヲ使用スレハ何モ論ナキ
コトナリ
サテ此追認ハ何時ニテモ之ヲ爲スヲ得ルヤト云フニ否ラス或條件ヲ
要スルナリ
第一ノ必要條件ハ代人ト自稱スルモノ本人ト揚言スルモノ、爲メニ
或事ヲ爲シタル場合ニ限ルナリ例ヘハ甲乙丙三人アランニ丙ハ自ラ
代人ト云フモノト假定シテ甲ハ丙ノ本人ト云フモノト定メンニ此場
合ニ於テ丙ハ例ヘハ甲ノ名義ニテ契約スルカ又ハ取引スルトキハ乃
チ甲ノ爲メ或事ヲ爲シタリト云フヘキナリ此場合ニ他人ナル乙ハ丙
ノ所爲ヲ追認スルヲ得ヘキカ否乙ハ追認スルヲ得サルナリ何トナレ
ハ始メヨリ丙ハ乙ノ爲メニ取引ヲ爲シタルニアラサレハナリ即他人

認スルヲ得スト云フコトニテ反對ヨリ云ヘハ代人ト稱スルモノハ追
ハ追認ヲ爲スモノ、爲メニ或事ヲ爲シタルトキニ限ルナリ
第二ニ必要ナル條件ハ本人タルモノカ代人ノ所爲ヲ爲シタル當時ニ
事實上又ハ法律上存在セサル可ラス例ヘハ茲ニ日本鐵道會社ノ發起
人等カ同會社ノ爲メニ爲シタル所爲ヲ會社ハ後日ニ至リ追認スルヲ
得サルナリ何トナレハ該會社ハ發起人等カ所爲ヲ爲シタル際ニハ未
世ニ存在セスシテ其後ニ至リ政府ノ特許ヲ得テ始メテ成立シタルモ
ノナレハナリ凡テ追認ハ認ムヘキ所爲ノ在リタルトキニ溯リテ効力
アルモノニシテ恰モ其當時豫任シタルト同一ノ効能アルモノナレハ
其時ニ方リ本人タルモノ存在セサル可ラサルナリ乃チ本人タルモノ
存在シテ爲シ得ル場合ニアラサリセハ追認ハ其効力ヲ生セサルコト
、知ルヘシ

又無遺囑ニテ死シタルモノアルトキハ死者ノ管財人ナルモノ出來ル
 ハ英米ノ例規ナリ之ヲ無遺囑管財人ト名ツク若シ本人死去ノ后其無
 遺囑管財人任命ヲ受クルノ前ニ代人ハ本人ノ死去シタルコトヲ知ラ
 スシテ或事ヲ取計フタルトキハ此管財人ハ尙其取計ヲ追認スルコト
 ナ得ルナリコハ例外ノ如ク見ユレトモ否ラス何トナレハ無遺囑管財
 人ナルモノハ死後ニ命セラル、モノナレトモ其權限ハ本人ノ死去ノ
 時ニ開始スルモノト法律上見做サル、ユヘナリ已ニ本人ノ死去ニ引
 繼テ權限アルモノトセハ代理人ノ所爲ヲ追認スルヲ得ルハ固ヨリ當
 然ニシテ例外ニアラサレハナリ
 第三ノ必要ナル條件ハ本人其追認スヘキ事柄ニ關スル情況ヲ知リテ
 追認スルヲ要ス否ヲサレハ追認其効ナシ乃チ本人カ斯ク々々ノ事情ヨ
 リシテ代人カ或事ヲ爲シタリト云フコトヲ知テ追認ヲ爲シタルニア

ラサレハ其効ナシ例ヘハ代人ガ他人ト契約シ契約ヲ爲シタル事情ヲ
 有ノ儘ニ本人ニ告ケスシテ詐ヲ告ケタルニ本人ハ其詐タルヲ知ラス
 シテ追認スル時ハ其結果ヲ本人ニ歸スルヲ得サルナリ何トナレハ其
 契約ノ情况ヲ知ラサレハナリ故ニ若シ第三者ヨリ本人ニ掛リテ其責
 ナ負ハシメントスルモ本人ハ余ハ之ヲ知ラスト答辨スルヲ得ルナリ
 左レハ若シ其責ヲ本人ニ負ハシメントスルニハ第○三○者○ヨリ本人ハ情
 况ヲ知テ追認ヲ爲シタリト云フコトヲ證明セサル可ラス畢竟本人ハ
 己レノ委任ナクシテ爲シタルコトノ情况ヲ詮索シテ知ルノ義務ナク
 其義務ナキユヘ怠惰ノ責無ク怠惰ノ責ナキユヘ追認スルモ情况ヲ知
 ラサルトキハ責メ無キ所以ナリ
 第四ノ必要條件ハ本人カ委任ナキ代人ノ所爲ヲ追認スルトキハ其所
 爲ノ全部ヲ追認セサル可ラサルナリ此規則ハ誠ニ正當ニシテ若シ本

人ニ於テ所爲ノ一分部ヲ追認シテ其他ノ部分ヲ排斥スルヲ得ルトセ
ハ自分ノ利益ニ爲ル部分ノミヲ追認シテ不利益ナル部分ヲ排斥スル
ニ至リ第三者ノ迷惑思知ルヘキナリコレ此規則アル所以ナリ

右等ノ條件ニ依リ本人一度追認セハ其後再ヒ之ヲ取消スコトヲ得サ
ルナリ但シ前ニ云ヘル情况ヲ知ラスシテ追認シタルトキハ例外ナリ以
上ニテ代人ヲ委任スル方法ヲ云ヒ了ハレリ以下代人ノ權限ノコトヲ
云ハントス

代理人ノ權限

代理人ノ權限トハ本人ヨリ授ケラレタル權力ノ範圍ヲ稱スルモノニ
シテ固ヨリ代理ノ委任ハ基礎ナレハ委任ヨリシテ權限生セサル可ラ
サルナリ乃チ委任ノ主意ニテ權力ノ範圍ヲ定メサル可ラス例ヘハ物
品賣却ノ事ヲ委托セラレタル代理人ハ賣却ノ權ハアレトモ買入ノ權

Extent of
Authority

代理人ノ
權限

六有セサルカ如シ然レトモ此規則ニハ附則アリテソハ如何ナル規則
 ナリヤト云フニ委任ノ事柄ヲ仕遂クルニ相當ニシテ且通常ナル方便
 又ハ手段ヲ用フル權力アリトノ定メナリ例ハ余カ大阪ノ甲銀行ヨ
 リ振出シタル約束手形ヲ東京ノ或銀行ニ持參シテ其支拂請求ノコトヲ
 委托セシトキ東京ノ銀行ハ其「コレレスボンデンス」ノ約定アル大坂ノ
 乙銀行又ハ丙銀行ニ依頼シテ其金ヲ引出サシムルコトヲ得余ハ正金
 ヲ引出シ吳レヨト頼ミタルノミニテ引出シ方ニ付テハ何等ノ事ヲモ
 申置サリシナレトモ東京銀行ハ態々人ヲ大坂ニ差立ツルニ及ハス前
 陳ノ如キ方便手段ヲ用ヒテ正金ヲ引出スモ可ナリ何トナレハ右ノ手
 段ハ銀行社會ノ習慣ニ適ヒ爾モ相當ナルモノナレハナリ
 今日ハ前回ニ續キ代理人ノ權限ヲ論スヘシ前回ニ代理人ノ權限ハ委
 任ヨリシテ生スルコト又之ニ付帶シタル規則アリテ委任ノ事柄ヲ仕

遂クル爲メ相當ニシテ且尋常ノ手段ヲ用フル權力ハ自ラ代理權内ニ
 包含スルコトヲ云ヘリ扱此手段ハ啻ニ相當ナルノミナラス亦尋常ノモ
 ノナラサレハ不可ナリ右ハ當然ノ規則ニシテ本人タルモノカ非常ノ
 手段ヲ用フルコトヲ代理人ニ委任シタリトノ推測ハ通常得テ下スヘ
 カラス故ニ好シヤ時ト場所トニ依リ使用スレハ本人ノ爲メ利益アリ
 ト思ハル、手段ナリトモ同様ノ時同様ノ場合ニ於テ通常世人ノ用フル
 モノニアラサレハ其手段ヲ使用スルコトヲ得サルナリ例ヘハ物ヲ賣
 ルコトヲ委任セラレタル代理人ハ此物ハ斯々ノ品柄ナリトノ請合ヲ
 爲シ得ルコトモアリ或ハ又請合ヲ爲シ得サルコトモアリ若シ商業上
 ノ習慣ニテ斯ル請合ヲ爲スコト通常ナレハ代理人カ請合ヲ爲スコト
 自カラ其ノ權限内ニ包含シアルモノナリ又之ニ反シテ請合ヲ爲スコ
 トハ通常ノ習慣ナラストセンカ縱令請合ヲ爲セハ高價ニ賣捌キ得ル

場合ニ於テモ代理人ハ之ヲ爲スヲ得ス
英國ノ習慣ニテ馬ノ賣買ハ必ス請合付ノ賣買ナリ例ヘハ此馬ニハ何ノ
病氣故障モナシ或ハ此馬ハ血統正シキモノナリト云フカ如シ故ニ馬
ノ賣買ヲ委任セラレタル代理人ハ別段ノ委任ナキモ此ノ如キ請合ヲ
爲スコトヲ得ヘシ
扱代理人ノ權限ハ委任ヨリシテ生スルカユヘニ之ヲ見出スニモ委任
ヲ見出スト同様ノ方法手段ヲ用ヒサルヘカラス故ニ之ヲ説クニモ亦
委任ヲ説キタル例ニ倣ヒテ申スヘシ
第一、明意委任ニテ與ヘラレタル代理權限
第二、包意委任ニ由リテ與ヘラレタル代理權限
以下此順序ニテ講セントス
第一、明意委任ヲ以テ與ヘラレタル代理權限

明意ノ委任ニ依テ與ヘラレタル代理人ノ權限ハ其文書若クハ言語ノ
解釋ニ由テ知り得ルモノナリ之ニ就テモ例ノ相當ニシテ尋常ナル手
段ヲ用フル規則ヲ始終頭腦ニ記シ置クヘシ例ヘテ申セハ委任狀ヲ以
テ土地讓渡ヲ委任シタリトセヨ此時ハ日本ノ風俗ニテ云ヘハ此地處
ニ付テハ他ヨリ一切故障無之萬一故障ヲ申立ツルモノ御座候節ハ讓
渡人保證人罷出テ屹ト埒明申スヘシト云請合文句ヲ用ヒテ讓渡ヲ爲
スコトヲ得何トナレハ此等ノ文句ハ日本ニテ通常用ユルモノナレハ
代理人ニ此權限アルハ當然ナレハナリ
又一ハ代理委任狀ニ何々ノ事ヲ委任スト箇條ヲ分ケテ記シ然後萬事
貴殿ニ委任スト云廣キ意味ノ語ヲ用ヒアルトキハ如何ニ解釋シ得ル
ヤ箇條外ニ何事ニテモ委任シタルモノトスヘキヤ將タ其箇條ノ事柄
ヲ仕遂クルニ必要ナルコトノミナ委任シタルモノトスヘキヤト云フ

ニ解釋法ニテハ第二ノ方チ正當トスルナリ書面ノ解釋ハ何レカト云
ヘハ嚴シク解釋スルヲ規則トス即チ成ルヘク文字通りニ爲シ汎キ解
釋ヲ爲サ、ルナリ例ヘハ前例ニ申シタル土地ノ賣渡ヲ委任セラレタ
ル代理人ハ其土地ヲ質入スルコトヲ得ス一方ヨリ考レハ物ヲ賣リテ
モヨシト云ヘハ其レヨリ小キ質入ヲ爲シテモ差支ナキカ如シト雖通
常ハ賣渡ノ文字ヲ解釋シテ質入ヲ包含スルモノトスルコト能ハサル
ナリ併シコレモ只一例トシタルマテナレハ時ト場合トニ依テ色々變
通スルコトヲ得ルモノニシテ通常賣却ヲ委任セラレタルモノハ質入
スルヲ得ストノ例ニ引キタルノミ又本人ヨリ代理人ニ自分ノ營業ノ
事柄萬端汝ニ委任スルトノ委任狀ヲ渡スモ其委任狀ニ依リテ本人ノ
店ヲ賣却シ又質入トシ其他本人ノ財産ヲ移轉スルヲ得ストノ規則ア
リ但商品ハ此限ニアラスト成居レリ日本ニテモ代理人ノ權力ニ就テ

ハ往々議論アリテ總理代人ハ何事ニテモ爲シ得ルトノ解釋モアルカ
コレハ隨分危キ話ニテ往々世ヲ害シ利益ヲ與フルコト少キカ如シ左
レハ英國ノ解釋法カ相當ノ如ク思ハルレトモ今日判決例ハ何レニ向
ヒ居ルヤハ余ハ確ト存セヌカ規則ニ據レハ總理ノ場合ニ於テモ何々
ノ箇條ヲ委任スト明ニ記スルコト肝要ニシテ唯何某ヲ以テ總理代人
トスル趣ノ文言ノミニテハ完全ナル委任ナラヌコトニ思ハル
扱此委任カ書面ニテ與ヘラレタル場合ニ代理人ト取引スルモノハ必
委任狀ヲ披見シテ然後取引ヲ爲サルハカラス此規則ハ主トシテ法
律上必ス委任狀ヲ用ヒサル可ラサル場合ニ適用セラル、ナリ例ヘハ不
動産讓渡ノ時ハ英國ニテハ必ス捺印證書ノ委任狀ヲ要ス故ニ若シ不動
産ヲ賣却スル代理人ヨリ不動産ヲ買取ルモノハ必ス委任狀ヲ見テ其代
理人ノ權限ヲ有スルヤ否ヤヲ調ヘサル可ラス何トナレハ此場合ニハ

必^ス委任狀アルヘケレハナリ若シ委任狀ヲ見スシテ取引シタル後代理人
人權限外ノコトヲ爲シ損害ヲ蒙ムルモ自業自得何レニモ訴フルヲ得
サルナリ
又會社ト取引スルモノハ必^ス會社ノ條款ヲ見テ頭取ノ權限如何ヲ知ラ
サル可ラサルナリ如何トナレハ此場合ニハ必^ス會社ノ條款ニ頭取ノ權
限ヲ記シアルモノナレハナリ
乍併本人ヨリ代理人ニ送ル内密⁽⁻⁾ノ訓示例ヘハ手紙又ハ其他ノ書キ物
ニシテ本人ト代理人間ノ内相談ニ係ルモノハ代理人ト取引スル對手
ハ閱見スルノ義務ナキモノナリ〔此事ハ後ニ至テ詳シク云ハン〕故ニ其
内密ノ訓示ヲ見ル義務ナキヲ以テ代理人訓示ニ反シタルコトヲ爲ス
モ對手ハ不幸ヲ蒙ムルコトナシトス
又本人ヨリ代理人ニ與ヘラレタル委任狀ノ文意ニ様ニ解シ得ラルハ

包意委任
ヨリシテ
生スル代
理人ノ權
限

トキ本人ハ一方ノ意味ヲ以テ委任シ代理人ハ他ノ方ノ意味ヲ以テ委任ノコトヲ取計タルトキハ代理人ハ其權限ヲ踰ヘタリト云フヘキヤ此場合ニハ常ニ本人ニ不利益ヲ歸スル様ニ解釋スルカ當然ナリ但シ代理人カ善意ヲ以テ其委任狀ヲ解釋シタルトキニ限ルナリ若シ代理人ニ於テ本人ハ一方ノ意味ニ解シタルコトヲ知りツ、他ノ方ニ解釋ヲ爲シタルトキハ此限ニアラサルナリ

第二 包意委任ヨリシテ生スル代理人ノ權限

此包意委任ヨリシテ生スル代理人ノ權限ヲ申スニモ前ニ云ヘル代理人ヲ委任スル方法ノトキト同シ順序ヲ取リテ言ハントス
第一本人ノ所爲若クハ習慣ヨリシテ權限ノ生スルトキハ如何スヘキ

ヤ一人ノ可成者ハ其間ニモテ其間ノ主ノ可成者ハ其間ノ主
 此場合ニ於テハ固ヨリ其所爲若クハ習慣ヨリシテ如何ナル推測ヲ爲
 スカ正當ナルヤ否ヲ定ムルニ外ナラス例ヘハ過日モ申シタル如ク商
 店ニ居合スル人商店ノ品物ヲ客ニ賣ルヲ主人ハ知リツ、差止メサル
 トキハ其賣渡シタル人ハ該品物ヲ賣ル權限ヲ主人ヨリ委任サレタル
 モノト推測スルヲ得然ラハ此人ニ物品ヲ買入ル、權限アリヤト云ヘ
 ハ否ス、ル推測ハ下スヲ得サルナリ故ニ買入ノ權限ハ其人ニ存セス
 下決セサル可ラス然レトモ本人ト代理人トノ間ニ存スル習慣ニ因テ
 ハ尋常推測シ得ヘキヨリハ廣キ權限ヲ與ヘタルモノト推測シ得ヘキ
 場合アルコト固ヨリナリ誰ニテモ世間一般ノ習慣ニ定メアルモノヨ
 リ廣キ權限ヲ與ヘント欲セハ固ヨリ之ヲ與フルコトヲ得又世間普通
 ノモノヨリ大ナル權限ヲ常ニ與ヘラレ居ルモノハ其權限通リニ事ヲ爲

ステ得ルモノナリ唯本人ハ世間ノ習慣ニ依テ與フルモ又否ラサルモ
 自分ノ勝手ナリトス
 第二人ノ關係ヨリ代理委任ノ生シタル場合ニ於テ其權限ハ如何シテ
 定ムルヤ前ニモ云ヘル如ク妻カ夫ノ代理人トナルハ通常ノコトナリ
 人ノ妻ハ自ラ家事向ニ付テハ夫ヲ代理スル權限アリ其權限ハ如何ト
 云フニ先ツ家事向ニ付テ必要ナル物品ノ供給是ナリ即チ飲食衣服モ人々
 ノ位地相應ニ供給スル如キ權限ハ人ノ妻タルモノニ存スルナリ而シ
 テ何品カ果シテ必要ナルヤ否ハ自ラ人々ノ地位ニ依テ定マラサル可
 カラス例ヘハ有福ノ商人ト貧乏ノ百姓トノ間ニ必要品ノ差別モアル
 ヘシ絹ノ衣服ハ商買人ニハ必要品タルモ百姓ニハ奢侈物ニ屬スル如
 キ理窟ニシテ人ノ位地ニ由リテ種々異ナルモノナレハ從テ妻ノ代理
 權モ之ニ伴フテ變スルモノナリ

又組合員間ニテハ營業上ニ關スルコトハ萬事萬端一人ニテ取計フコトヲ得ルモノナリ但シ其權限ノ詳細ハ組合法ニ讓テ爰ニ説カス

第三必要ヨリシテ代理委任ノ生シタルトキ代理人ノ權限如何ヲ申スヘシ此場合ニテハ代理人ノ權限ハ必要ノ度ト相適ハサル可ラス固ヨリ必要ヨリ生スル代理人ナレハ其權限モ亦必要ヨリ生セサル可ラス必要ノトキハ通常ニ在テハ爲スヲ得サルコトモ是非爲サ、ルヲ得サルコト往々アリ

サテコノ通常ノ例ハ船長ナリ船長ハ自分ノ航海ヲ爲スニ必要ナルトキハ船ヲ書入質トシ又ハ船ノ修繕其他乗込人ノ食料ヲ買入ル、爲メ借金スルコトヲ得ルナリ併シ乍ラ此權限モ必要ノ度ニ適セサル可ラス故ニ若シ船ノ書入ヲ爲サス船主ノ信用ニテ金子ヲ借入レ得ル場合又ハ船主ト通信スルヲ得ル場合ニハ先ツ信用ニテ借金シ或ハ船主ト通

信シタル上ニテ取扱ヲ爲サ、ルヘカラス併シ通信ニ多クノ時日ヲ要スルカ又ハ多クノ費用ヲ要スルトキハ此限ニアラス船長ノ權限ハ廣キモノニシテ海上ニテ難船スルトキハ積載スル物貨ヲ海中ニ投棄スルコトヲ得ヘク又或ハ積荷ノ腐敗スル恐アルトキハ之ヲ賣拂フコトヲモ得ヘキナリ皆是レ必要ヨリシテ此權生スルモノナリ

第四代理人ノ權限カ營業ノ性質ヨリシテ定マルコトアリ即チ代理人ノ業体ニ由リテ定マルモノナリ若シ代理人ノ營業カ能ク一般ニ知レ渡リテアレハ其營業上通例爲ス所ノ萬端ノ所爲ヲ爲ス權ハ其代理人ニ在リ然シ其業体一般ニ知レ渡ラサレハ不可ナリ仲買人競賣人代言人ノ如キハ其業体明ラカナルユヘ其營業上通例爲シ得ルコトハ別段ノ委任ナキモ之ヲ爲スヲ得ルナリ代理人ノ業体ヨリ權限生スルカユヘニ本人右ノ如キ代人ニ内密ノ訓示ヲ與ヘテ權限ヲ狹クセントスルモ

對手人ハ固ヨリ訓示ニ由テ束縛セラレス假リニ例ヲ競賣人ニ取テ申
サシニ競賣人ハ何品ニテモ委託セラレタルモノヲ競賣ニ付スルハ世
人ノ知ル所ナリ而シテ競賣ヲ爲スニ付テハ種々ノ手續アルコトニテ
或ハ引札ヲ出シ賣渡ノ條件ヲ設クルハ通常ノ事ナレハ業体上自然之
ヲ爲スノ權アリテ本人代理人間ノミナラス第三者ニモ知レ居ルユヘ
假令本人代理人ニ手紙又ハ口上ニテ斯々ノコトハ爲ス可ラスト命ス
ルモ其訓示ハ第三者ニ對シテ効ナキモノトス何トナレハ他人ノ窺知
リ難キ手段ヲ用テ通常世間ニ知レ渡リタル代理人ノ權限ヲ狹クスル
ハ不當ナレハナリ併シ乍ラ本人代理人間ニ於テハ訓示ノ効能アルコ
ト勿論ニシテ代理人之ニ背ケハ其權限ヲ踰タルニ相違ナシ
此本人ト代理人ト本人ト第三者間トノ權利ヲ混スルコトアルユヘ能
ク注意セサル可ラス通常代理法ニテハ多クハ本人ト第三者間トノ事

總理代理人
區別

- (一) General Agents
- (二) Special Agents

ナ記スルモノナリ畢竟代理權ニ關スル問題ハ多ク本人ト第三者間ニ起ルヲ以テナリ

若シ右ノ言ニ反シ他人ノ業体カ世間ニ知レサルトキハ何人ト雖代理人ノ權限ヲ業体ヨリ推測スルコトヲ得ス假令取引ヲ爲ス人ハ代理人ノ權限ヲ知ルニ世間ニ知レサレハ業体上ヨリシテハ推測スルヲ得サルナリ業体ノ定マリタル人又ハ業体ノ定マラサル人ト云ヘルカ此序ニ總理代人ト部理代人トノ區別ヲ一言セン然シ爰ニ所謂ル總理代人部理代人トハ本邦ニテ同稱ヲ付スルモノト異ナリ原語ヲ直譯スレハ一般代理人特別代理人ト申スヘクシテ英米法ノ區別ハ本邦ノ區別ト全ク相適合スルモノニ非ス唯他ニ適當ノ文字ナキカ故ニ假リニ總理部理ノ文字ヲ用フル次第ナレハ諸君宜シク爰ニ注意シテ聽聞アラシコトヲ希望ス

通常總理代人ニ付スル所ノ定義ニ依レハ本人ニ代リ一般ノ業務ヲ取
 扱フモノヲ總理代人ト云ヒ或格段ナル事項ニ付テ本人ノ爲メニ取計
 ナ爲スモノヲ部理代人ト云フトセリ乍併一般格段ト云フニ語ハ固ヨ
 リ比較相對ノ語ナレハ何事ヲ爲シテ一般ト云ヒ何事ヲ格段ト云フヤ
 ニ至テハ定マリタルコトナシトス例ヘハ物品賣却ヲ委任セラレタル
 代理人ハ或格段ナル物品賣却ヲ委任セラレタル代理人ト對スレハ總
 理代人ト云ハサルヲ得ス又本人ノ諸品賣却ヲ委任セラレタル代理人
 ト諸品賣却及買入ヲ委任セラレタル代理人ト比較スレハ先キニ總理
 代人ト云ヒシモノハ部理代人ト云ハサルヘカラス何トナレハ諸品賣
 却ノ權限ヨリハ諸品賣却及買入ヲ委任セラレタルモノノ權限ハ廣キ
 カユヘナリ

前回ニ於テ一般ノ業務ヲ委托セラレタルモノヲ總理代人ト云ヒ或格

段ナル事務ヲ委託セラレタルモノヲ部理代人ト云フハ通常ノ定義ナル旨ヲ述ヘタリ又或説ニハ或格段ナル種類ノ事ヲ總テ取扱フ人ヲ稱シテ總理代人ト云ヒ唯一事ニ付テ委任ヲ受ケタルモノヲ部理代人ト云フトアリ例ヲ擧ケテ申セハ甲カ物品ヲ賣ルトキニハ常ニ乙ニ賣却ノ事ヲ委任スル場合ニハ乙ハ賣却ト云フ格段ナル種類ノ事柄ハ總テ甲ニ代リテ取扱フユヘ乙ヲ總理代人ト云ヒ甲ヨリ唯一度或物ヲ賣ル權ヲ乙ニ授ケラレタルトキハ乙ヲ部理代人ト云フノ意味ナリ今假リニ競賣人ノ例ヲ出サンニ若シ余カ始終乙ナル競賣人ニ余ノ品物賣却ヲ委任セハ甲ヲ余ノ總理代人ト云ハサル可ラス之ニ反シテ唯一度乙ヲシテ余ノ物ヲ賣ラシメハ乙ハ余ノ部理代人ナルヘシ然ルニ何レノ學説ニ據ルモ競賣人仲人或ハ賣買仲人ノ如キハ稱シテ總理代人ト云フナリ左スレハ此説モ結局穩當ナラサルカ如シ若シ強テ斯クノ如キ

理由ニ依リテ總理代人ト部理代人トノ區別ヲ立テント欲セハ何事ニ
限ラス本人ニ代リテ取扱ヲ爲スモノト其レヨリ狭キ權限ヲ有スルモ
ノトノ間ニ區別ヲ立ツルノ外ニ仕方アルヘカラス現ニ我國ニテ總理
代人ハ何事ニテモ爲シ得ルト云ヒ而シテ其レヨリ狭キモノハ部理代
人ト云フニ至レリ又佛國民法千九百八十七條ヲ見レハ佛蘭西ニテモ
同様ナルカ如シ然リ而シテ英米ノ法律ニテ云フ總理代人ハ日本ヤ佛
蘭西ニテ云フ總理代人トハ異ニシテ日本佛蘭西ニテ總理代人ト云フ
モノハ英米ニテハ更ニ無シト云フモ可ナリ(英語ニテ之ヲ⁽⁻⁾ユニバルサ
ル、エゼントト云フ)
サテ此總理代人ト部理代人トヲ區別スル理由ハ何クニ在ルヤ即チ之
ヲ區別スルハ何ノ必要アルヤト問ハ、學者ノ説ニハ總理代人ノ權限
ハ委任ノ事柄ヲ仕遂クルニ必要ニシテ且ツ尋常ノ手段ヲ用フル權ヲ

含有スルモノニシテ内密ノ訓示ニテ其權限ヲ制限セラレサルナリ然ルニ部理代人ノ權限ハ丁度申付ケラレタル丈ヲ爲ス權ノミニシテ部理代人ト取引スル他人ハ其權限ヲ知ル義務アリト之ヲ約言スレハ總理代人ナレハ他人ハ其權限ヲ穿鑿スルニ及ハサレトモ部理代人ノ權限ハ必ス取調ヘテ承知セサルヘカラストノ意味ナリ

サテ前例ニ立チ戻リ是規則ヲ競賣人ニ適用センニ若シ余カ始終乙ナル競賣人ヲ使用セハ乙ハ余ノ總理代人ニシテ只一度乙ヲ使用セハ乙ハ余ノ部理代人ナリ而シテ始メノ場合ニハ通常競賣人ノ有スル丈ノ權限ヲ乙ハ有シ居ルモノト推測シテ可ナルモ只一度乙ヲ使用シタルニ止ルトキハ乙ト取引スル他人ハ常ニ乙ノ權限如何ヲ知りテ後取引セサルヘカラス然ラハ則チ其結果ハ競賣人ト取引スル人ハ始終其果シテ總理代人ナルカ部理代人ナルカヲ見出シテ取引セサル可ラサル

コトニ相成ルナリ左スレハ此規則ハ前後矛盾スルノミナラス全ク無用ノモノト云テ可ナリ何トナレハ總理代人ハ通常委任ノ事柄ヲ仕遂クルニ必要ノ事柄ハ爲シ得ルモノユヘ他人ハ自分ト取引スル代理人カ如何ナル委任權ヲ有スルヤヲ穿鑿スルニ及ハストハ云フモノハ自分ト取引スルモノハ總理代人ナルヤ將タ部理代人ナルヤハ穿鑿セサルヘカラサルカユヘニ詰リ他人ハ終始代理人ノ權限如何ヲ見出サネハ成ラヌコトハ成ルヲ以テナリ

前回ニ述ヘタル學說ニ依レハ委任業務ノ一般ナルト格段ナルトニ由リテ總理部理ノ區別ヲ付スヘキナレトモ一般格段トハ比較ノ語ナレハ標準ノ取り様次第ニテ同一ノ業務モ一般トナリ格段トナル故ニ此說ニ由リテ區別ヲ立ツルコト難シ又只今申述ヘタル說ハ前後撞着シテ區別ノ基タル可ラス左スレハ總理代人部理代人ノ區別ニ付尤穩カ

(-)Attorneys and Counsel. ^{ノ總理代理人種類}

ナル説ハ職業ノ性質ノ世間ニ知レ渡リタルモノヲ總理代人ト云ヒ其性質ノ明カニ世間ニ知レ渡ラサルモノヲ部理代人ト云フニ在ルカ如シ即チ競賣人仲人ノ如キハ其職業ノ性質世間ニ知レ渡リ居ルユヘ其權限ハ通常同業人ノ爲シ得ル丈ノ權限ヲ包含シタルモノト推測セラルハユヘ之ト取引スル他人ハ汝ノ委任セラレタル權限ハ如何ト云フテ穿鑿スルニ及ハス然シ乍ラ此ノ如ク業体明ラカナラサル代理人ト取引スル他人ハ對手ノ委任狀ヲ取調ヘタル後ニアラサレハ安心シテ取引ヲ爲スヲ得サルナリ是レ英吉利法律ニ所謂總理代人部理代人ヲ區別スル方法ノ最穩當ナル所以ナリ斯クシテ見ルトキハ如何ナルモノカ總理代人ナルヤヲ知ルコト必要ナルユヘ業体ノ通常世間ニ知レ渡リタル中ノ重ナルモノヲ左ニ掲ケン

(-) 代理人

代理法

四十七

依頼人ト代理人トノ關係ハ取りモ直サス本人ト代理人トノ關係ユヘ
其關係ハ代理法ニ依リテ支配セラル、モノナリ
代理人ハ其訴訟ノ進行ニ從テ通常起ル所ノ諸事ヲ取捌クノ權アルモ
ノナリ例ヘハ代理人ハ事實ヲ自認シ訴訟ヲ中止シ又ハ訴訟ノ事柄ヲ
仲裁人ニ委付シ⁵仮差押ヲ爲シ若クハ之ヲ解クコトヲ得ルナリ又英吉
利法律ニテハ代理人ハ和解^いヲ爲ス權ヲ有スルモノト成リ居ルナリ即
チ訴訟進行中ニ時ノ模様ニ依リ和解スルハ却テ本人ノ利益ト思フト
キハ之ヲ爲シ得ルナリ其理由ヲ釋メレハ凡ソ訴訟ノ進行スル其間ニ
ハ色々ノ事柄起ルモノニシテ和解スルカ却テ利益ナリト思ハル、事
情ノ生スルコトアルニ其事情ナルモノハ忽^チ現出シ^チ條^チ消去リ和解ノ機
會間ニ髮テ容レサルコト多シ然ルニ其都度一々本人ニ和解シテモ宜
シキカ否ヲ問合スル如キコトアリテハ大事ナル機會ヲ失フノ恐アル

ユハニ代言人ニハ和解ヲ爲スノ權ナカルヘカラストナリ乍ラ代
言人ハ勿論善意ヲ以テ和解セサルヘカラス若シ代言人ニ於テ對手ト
馴レ合フ如キ惡意ニ出テ和解スルトキハ其効アルヘカラサルナリ又
特別ニ何處マテモ訴訟ヲ貫キ吳レヨト委任セラレタルトキハ訴訟ス
ルヲ得サルナリ一體代言人ニ和解ヲ爲スノ權ヲ授クルハ理論上非難
スヘキ所アルカ如シ何トナレハ凡ソ本人カ訴訟事件ヲ代言人ニ委託
スルハ是非其權利ヲ伸張セント欲スルニ由ルコト勿論ノ義ナレハ代
理人タル代言人一己ノ考ニテ和解ヲ爲スハ本人ノ素志ニ背クモノト
スルコト通常ノ推測ナルヘキヲ以テナリ好シ又英法ノ論理ヲ可トス
ルモ此規則ハ英吉利ニ在テコソ好結果ヲ奏スルコトナレ他國ニ於テ
ハ其必ス然ルヲ期スヘカラス英國ノ代言人ハ財產家ノ子弟ヨリ出テ
古來ヨリ交際社會ノ上流ニ位シ各其職業相當學識經驗ヲ具備スルノ

ミナラス其位地相當ノ品行ヲ保持スルカ故ニ世人ノ信用ヲ亨クルコト亦隨テ深シ畢竟此事情アリテ彼ノ規則アルコトナレハ此事情現存セサル國ニ於テ彼ノ規則ヲ設クルトキハ其弊害殆ント言フヘカラサルモノアラン我國ニテ代言人トシ云ヘ世人ノ之ヲ擯斥スルヲ常トス世人ノ見解ノ當否ハ兎モ角モ斯ル事情アル間ハ此規則ヲ採用セサル方カ宜シカラント存スルナリ

代言人ノ權限ハ概_テ裁判ヲ得タルトキニ至リテ消滅スルモノニシテ其後ハ只裁判ノ結果タル執行ヲ世話スル權アルノミ故ニ改メテ依頼ヲ受クルニアラサレハ控訴ヲ爲スヲ得サルナリ

(二) 競賣人

英吉利ニテ競賣人トハ法律ニ依リテ手數料ヲ取り公然物品ヲ競賣ニ付スル權ヲ與ヘラレタルモノナリ通常ハ賣人ノ代理人ナレトモ一度

競リ落チトナリテ〔西洋ニテ競賣スルニハ段々價ヲ競リ上ケタル終リ
ニ至リテ槌ヲ以テ机ヲ打ツトキハ競リ落チト成ル〕買人ノ名前ヲ署ス
ルトキハ買人ノ代理人トナルモノナリ〔曾テ申シタル通り競賣人ノ買
人ノ名ヲ署スルハ反對ノ位置ニ立ツ人ノ代理人ト爲ルヲ得サル例外
ニテ其所爲ハ單ニ手業ヲ用フルニ過サルカ故ナリ〕
競賣人ハ條件ヲ設ケテ競賣ニ付スル權アリ其他競賣ニ關スル諸事ヲ
取扱フノ權アリ然シ乍ラ通常ハ現金ノ約束ニテ賣買セサル可ラス決
シテ掛賣ヲ爲スヘカラス又賣物ニ就テ請合ヲ爲ス權モ有セサルナリ
尤請合ヲ爲スコトヲ許サレタルトキハ特別ナリ
競賣人ハ競賣ノ爲メ委託セラレタル物品ニ就テ先取特權ヲ有ス之ヲ
英語ニリエント云フ先取特權トハ本人カ競賣ニ付シタル時ノ費用手
數料等ヲ拂ハサルトキ其賣代金ヨリ他ノ債主ニ先チテ取立テ得ルト

云フコトナリ然シ乍ラ競賣人ハ賣代金ヲ受取ル權利ナキユヘ若シ買
 手カ代金ヲ競賣人ニ拂ヘハ自ラ危険ヲ踐マサルヘカラス乃チ若シ競
 賣人カ其代金ヲ費用スル様ノコトアルトキハ買手ハ再ヒ本人ニ向ツ
 テ代金ヲ拂ハサルヘカラサルナリ

仲人^(一)

仲人ハ手數料ヲ請取り他人ノ爲メ物品賣買ノ周旋ヲスル人ナリ乃チ
 賣ラント欲スルモノ、爲メニハ買人ヲ見出シ買ハント欲スルモノ、
 爲メニハ賣人ヲ見出スハ仲人ノ職業ナリ其職業斯克ノ如クナルユヘ
 賣人ノ趣意ヲ買人ニ通シ買人ノ趣意ヲ賣人ニ通シ丁度買人賣人双方
 立合ノ上賣買スル如クセサル可ラサルナリ仲人ノ取ル手數料ハ原語
 ニ^(二)「ブローカレージ」ト云フ而シテ仲人ハ自分ノ名前ニテ取引スルヲ得
 ス必ス本人ノ名前ニテ取引シ買人賣人兩方ニ證書ヲ渡スモノナリ

(五) Commission
(六) Factorage.

(三) Commission
Merchants
(四) Factors.

賣買仲人^(三)「コムミツシオンマルチヤント」又ハ^(四)「ファクトル」
 「コムミツシオンマルチヤント」云フモノハ外國ニ住スル本人ノ爲メニ
 品物ヲ買入ル、職業ノ人ニテ「ファクトル」ハ品物ヲ賣ル爲メノ代理人
 ナリ實際ハ横濱等ニ居ルモノハ賣買共ニ取計フ權ヲ有セリ此「コムミ
 シオンマルチヤント」ヲ取ル手数料ヲ^(五)「コムミツシオン」ト云ヒ「ファクト
 ル」ヲ取ル手数料ヲ^(六)「ファクトレージ」ト云フ然シ乍ラ此兩者ハ法律書ニ
 モ之ヲ區別セサルモノ多ク又實際ニモ混同シテ居ルナリ
 賣買仲人ハ仲人ト異ナリ本人ノ名前ヲ以テ契約ヲ爲スヲ得サル規則
 ナリ开ハ便宜上ヨリ出タルモノナリ例ヘハ余カ横濱ノ甲會社ト取引
 スルトセンニ其甲商會ノ本人ハ英國倫敦ニ住スルヤ知ル可ラス然ル
 ニ一朝其取引上ヨリ紛紜起リタルトキハ遙々ト倫敦マテ往キテ出訴
 セサルヘカラス豈ニ迷惑ノ至リナラスヤ先方ヨリ余ニ對スルトキモ

亦然リコレ此規則アル所以ナリ故ニ亦賣買仲人ハ本人ニ對シテハ買人又ハ賣人ノ權限ヲ有シ恰モ自分カ買人若クハ賣人本人タルノ位地ニ立コトヲ得ルモノナリ自分カ本人ノ爲メニ代金ヲ拂ヘハ其代價丈ノ權利ハ買人ニ代リテ主張スルコトヲ得又仲人ノ場合ニ於テハ品物ヲ占有スル權ナキモ賣買仲人ハ常ニ本人ノ品物ヲ占有スルヲ得又仲人ハ競賣人ト異ニシテ掛賣ヲ爲スコトヲ得又代價ヲ請取權モアリ然シ乍ラ本人ノ爲メニ請取ルヘキ金ヲ自分一己ノ負債ノ支拂ニ充ツルコトハ得サルナリ初メ英吉利法律ニテハ賣買仲人ハ本人ノ品物ヲ質入スルヲ得サリシカ近年布告ヲ以テ此權ヲ與フルニ至レリ并ハ賣買仲人ハ先取特權ヲ有シ此特權ハ品物ノミナラス賣代金ニ付テモ存スルモノナリ斯クノ如キ特權アルモノナレハ自分ノ有スル權利ノ高丈ニ付テハ特權ノ屬スヘキ物品ヲ他人ニ質入スルノ權アル可キハ當然

ナリ例へハ荷物ヲ船ヨリ陸揚スルニ費用ヲ要スルモ當時自分ニ持合
セナキヨリ該品物ヲ銀行ニ質入レシテ金ヲ借ルカ如キ是ナリ

(-) 請負仲人「デルクレデレ」

請負仲人トハ取引スル先方ノ人ハ身代大丈夫ナリトノ請合ヲ本人ニ
對シテ爲スモノナリ故ニ若シ其先方ノ入資産不充分ニシテ代金杯ヲ
拂ハサルトキハ自分代リテ辨償セサルヘカラス此特別ナル契約ヲ爲
セハ仲人又ハ賣買仲人トモニ此請負仲人ト爲ルヲ得ルモノナリ此請
負仲人ノ必要ナルコトハ申マテモナキコトナレドモ例へハ日本ヨリ
チーストリヤニ品物ヲ送リテ賣ラントスルニ先方ノ資産ノ有無ヲ知
ルヲ得サルトキハ到底安心シテ送ルコトヲ得サルユヘ此請負仲人ニ
汝チ先方ノ資産アルヲ請合フナラハ余品物ヲ送ラント云ヒ此請負仲
人カ請合フタル上送ルトキハ誠ニ安心ナリ是レ請負仲人ノアル所以ナ

リ
船長
(一) マスター、オフ、シツ

船長ハ前ニ云ヘル如ク重大ノ權力アルモノニテ船ノ保護及使用ニ就
テハ全ク本人ニ代リテ取扱ヲ爲スモノナリ其職業斯クノ如クナレハ
終始船ノ使用ニ關スル契約ヲ爲ス權ヲ有ス乃チ雇船契約ニ依リテ船ヲ
貸シ或ハ運送賃ヲ取リテ荷物ヲ運送スル契約ヲ爲スヲ得故ニ船長ノ
署名シタル積荷受取證書ビル、オフ、レ、ゼン、グハ船主ニ對シテ有効ナリトス(二)コノ積荷受取
證書ハ日本ニテモ使用スルモノナルカハ確カニ承知セサレモ西洋ニ
テハ船長ヨリ荷物ノ受取書ヲ出ス此受取書ヲ持參シテ荷物ヲ請取ル
モノナリ若シ荷物カ紛失杯スルトキハ此證書ヲ持チ船主ニ損害ヲ要
償スルコトヲ得ルモノナリ又船長ハ水夫ヲ雇入レ或ハ之ヲ解除スルヲ
得其他航海ヲ爲スニ就テハ船ノ修覆又ハ食料其他ノ物品ヲ用意スル

委任執行^(一) Execution of Authority.

權ヲ有ス然シ乍ラ船長ノ權限ハ船ノ通常ノ使用方法ノミニ關スルモノナリ故ニ通常客ヲ運送スル船ナレハ荷物運送ノ契約ヲ爲スヲ得ス又通常荷物ヲ運送スル船ナレハ客ヲ運送スルノ契約ヲ爲スヲ得サルナリ

委任權ノ執行^(一)

委任權ノ執行ニ關スル規則ハ代理人カ委任サレタル權ヲ如何様ニ執行スヘキヤヲ定ムルモノナリ
凡ソ代理人ハ正當ニ其委任權ヲ行ヒ其執行ノ結果ヲ本人ニ歸セシムルニハ能ク委任ノ趣意ヲ守ラサルヘカラサルコト勿論ナリ
全体本人カ代理人ニ或事ヲ委任スルハ其代理人ヲ信用スルニ由ルモノ故ニ代人タルモノハ身親カラ其受ケタル委任權ヲ執行フヘキモノニシテ又更ニ之ヲ他人ニ委任スルヲ得ス此規則ハ委任ノ事柄ニ由リ

(一) Delegated authority can not be redelegated.

(二) Trust.

テ信託^(二)ヲ代理人ニ置クコトノ必要ナルトキ又ハ代理人ノ技術ヲ要スルトキ又ハ代理人ノ取捨料見ヲ要スルトキニ常ニ適用スルモノナリ其理由ハ誠ニ明白ノコトナリ何トナレハ或事柄ヲ甲ナルモノニ任スルニハ甲ナル者ノ技量ハ其事柄ヲ仕遂グルニ適當ナリト見込ムユヘナルニ代理人タル者カ其權力ヲ本人ト一面識モ無キ人ニ再ヒ委任シ又ハ若シ本人カ知リシナラハ任用セサリシナラン所ノ人ニ再任スルトキハ本人ノ意旨ニ背クコト勿論ナレハナリ是^レ則^チ一度委任セラレタルモノハ再^ヒ委任スルヲ得ストノ規則アル所以ナリ併シナカラ是ノ規則ニハ例外アリ左ニ論スヘシ

業務ノ習慣ニ據リテ又^ハ代理人ヲ使用スルヲ得ル場合アリ例ヘハ本人ヨリ其諸種ノ財産賣却ノ事ヲ委任セラレタル代理人アリト假定スルトキハ家具類ヲ賣ルニ付テハ競賣人ヲ使用シ又株式ヲ賣ルニハ株式

取引所ノ仲買人ヲ使用スル如キハ即チ習慣上誰シモ其手續ヲ爲スコトナレハ本人ヨリ別段ニ又代理人使用ノ事ヲ委任セラレサルモ委任權ヲ再任スルコトヲ得ルモノナリ蓋シ此習慣アルハ分業ノ道盛ニ行ハル、ニ至レルヲ以テ一人ニテ萬事ヲ取扱フヲ得サルユヘニ斯クノ如キコトハ其道ニ詳シキモノヲ使用スルハ大ニ得策ナルヲ以テナリ又必要ノ場合ニ於テハ又代理人ヲ使用スルコトヲ得ヘシ例ヘテ申セハ船長カ航海先キニ於テ病氣ヲ煩ヒ兎テモ自身ニテ船長ノ事務ヲ執ルコトヲ得サルトキハ他人ヲシテ自分ノ代リニ船長ノ職務ヲ執ラシムルコトヲ得ルモノナリ船長ナケレハ航海出來難ク左リ迎航海ハ爲サ、ル可ラサルカ故ニ此場合ニ於テハ必要ヨリシテ復任ノ權生スルモノナリ

復任ノ權即チ又代理人使用ノ權ヲ授ケラレタルトキハ第一ノ代理人ハ

第二ノ代理人ノ所爲ニ付テ責任ヲ負ハサルヲ例トス前例ニ依リテ申
サンニ船長ノ命シタル船長ニ於テ落度アリテモ命シタル船長ハ本人
ニ對シテ責任無ク其命セラレタル船長カ本人ニ對シテ責任アルモノ
ナリ尤^モ第一ノ代理人ハ第二ノ代理人ヲ撰任スルニ就キ相當ノ注意ヲ
用ヒサルヘカラス若シ不適當ノ代理人ヲ撰任シ落度杯アリシトキハ
不^レ注^レ意^レノ廉^ニヲ以テ責任ヲ負ハサルヲ得サルナリ
復任ノ權利ヲ授ケラレサル代理人カ又代理人ヲ命シタルトキハ本人
ハ直ニ又代理人ニ對シテ權利ヲ主張スルヲ得サルナリ何トナレハ本
人ト第二ノ代理人トノ間ニハ何タル關係モ無ケレハナリ即^チ自分ハ其
人ニ對シテ本人ニアラサレハナリ併シナカラ第一ノ代理人ハ本人ノ
名前ニテ第二ノ代理人ヲ命シタルトキハ本人ハ第一ノ代理人ノ所爲
ヲ追認スレハ第二ノ代理人トノ關係生スルニハ此場合ハ本人ヨリ第

二ノ代理人ニ對シテ權利ヲ主張スルコトヲ得佛國民法ニ由レハ第一ノ代理人ヲシテ第二ノ代理人ノ所爲ニ付キ責任ヲ負ハシムル場合ニアルカ如シハ...

一、初メヨリ又代理人任用ノ權ヲ授ケラレサル場合

二、復任ノ權ヲ授ケラレタレトモ誰某ヲ命スヘシトノ命令ナキ場合ニ於テ第一ノ代理人ノ任用シタル第二ノ代理人ハ分明ニ資産ノ無キ又モノナルトキ又ハ技量無キ人ナル場合(佛國民法千九百九十四條)素ヨリ此復任⁽⁻⁾ヲ爲シ得ルト否トノ論ハ必竟第二ノ代理人ノ爲シタル所爲ノ結果ハ本人ニ歸スルヤ否ヲ定ムルモノニシテ詰リ第二ノ代理人カ本人ニ對シテ責任ヲ負フヘキヤ否ヤノ論ナリ苟クモ第一ノ代理人ニシテ責任ヲ負フヘキ場合ナラハ是乃^チ復任ノ權ヲ授ケラレヌ場合ナリ又第一ノ代理人復任ヲ爲スコトヲ得ト云フハ第二ノ代理人ハ本

人ニ對シテ直^チニ責任ヲ負フヘシト云フニ同シ故ニ第一ノ代理人カ責
 任ヲ負フヘキ場合ニ其復任ヲ爲シ得ルヤ否ヤノ論ハ無用ニ屬スルモ
 ノト云フ可シ今假リニ甲ヲ本人トシ乙ヲ第一ノ代理人トセンニ乙ニ
 復任ヲ爲スノ權ナケレハ乙ハ常ニ甲ニ對シテ委任權施行ノ責ニ任セ
 サル可ラス好シ又乙ハ實際丙ヲ復任スルモ丙ハ甲ノ第二代理人ナラ
 スシテ偏ニ乙ノ代理人タルニ過ス乃^チ丙ノ所爲ハ甲ノ所爲ナラサルカ
 故ニ隨テ丙ノ所爲ヨリ生スル結果ハ善惡共ニ甲ニ歸ス可ラス若シ丙
 ニ落度アレハ丙ハ乙ニ對シテ其責ニ任ス可キモ甲ニ對シテハ何等ノ
 責アルコトナシ

英吉利ニテハ復任ノ点ヨリ規則ヲ設ケ復任ヲ爲ス權ナキカ本則ニシ
 テ復任ヲ爲スヲ得ルハ例外ナリトシ佛蘭西ハ責任ノ点ヨリ規則ヲ立
 テ復任ノ權ナキ時ハ第一ノ代理人責任ヲ負フモノトス兩國規則ヲ設

立スルノ点ハ反對スレトモ結局ハ同様ナルカ如シ其代理人ハ法律上
又本人カ二人以上ノ人ニ委任權ヲ與フレハ其代理人ハ共同シテ委任
ノ事ヲ取計ラハサルヘカラス決シテ一人ニテ結末ヲ付クルヲ得ス是
ハ佛蘭西法ニテモ同様ナルカ如シ(千九百九十五條ニ曰ク一通ノ證書
ヲ以テ名代人數人ヲ任シタルトキト雖モ其數人ハ互ニ連帶スルコトナ
シ但シ其證書ニ連帶ノ旨ヲ記シタルトキハ格別トストアリ茲ニ連帶
スルコトナシトアルハ共同シテ取扱ハサルヘカラスト云フ意味ナリ)
商業上ニ關シテハ此規則ノ例外往々判決例ニテ定リ居ルカ如シ例ヘ
ハ本人カ其荷物ヲ賣買仲人ニ宛テ、送ルトキハ二人ノ中一人ニテモ
賣買ノ事ヲ取計フテ可ナリトノ判例アリ但シ是レハ幾分カ委任ノ書面上
ヨリシテ一人ニテモ二人ニテモ取扱フテモ可ナリトノ意味アリシナ
ラン通常ハ二人ニ委任セラレタルトキハ二人共同シテ委任權ヲ取扱

(-) Sealed Instruments
or
writings under seal

委任權執
行ノ書式

ハサルヘカラスニ
コレヨリ代理人カ委任權ヲ執行スル式ニ就テ述ヘントス
委任權執行ノ書式
此書式ニ付テハ捺印證書ト流通證書ト通常ノ無印證書トノ間ニ區別
アリ
捺印證書
本人ニ代リテ捺印證書ヲ作ルトキハ其證書文言内ニ本人ノ姓名ヲ書
キ現ハスノミナラス署名ノ場所ニモ本人ノ名前及代理人ノ名前ヲ認
メテ且ツ已レハ代理人タルコトヲ書キ加フヘシト云フ規則ナリ此規則
タルヤ實ニ嚴格ナルモノニテ縱令本文ニハ本人ノ名前アリ署名ノ場
所ニハ代理人ノ名前并ニ代理ノ關係ヲ明記スルトモ署名ノ場所ニ本
人ノ氏名ナケレハ證書ハ本人ノ證書タル可カラス其代理人ノ名前ニ

(-) Ordinary
Writings

(=) Negotiable
Instruments

附記シタル代理ノ關係ヲ示ス文言ハ單ニ代理人ノ身分職業ヲ表スル
ノミニシテ譬エハ我國ニテ士族平民又ハ農工商ト記スルカ如ク代理
人タル何某ヲ他人ト區別スル丈ノ効能アルノミ然シ是レハ英國固有
ノ規則ニシテ萬國普通ノ者トハ思ハレサルナリ又代理人カ署名スル
場所ニ於テ署名セサルトキハ是亦無効ナリトス何トナレハ本人ノ名
前ヲ僞書シタル譯ニ當レハナリ

(=) 流通證書

流通證書トハ約束手形爲替手形引出切手ヲ指スモノナリ是場合ニモ
正シキ書式ハ捺印證書ノ式ト同様ナルニ相違アルマシケレトモ少シ
前者ニ比シテ寛カナル規則ナリ此流通證書ノ時ハ本人ノ名前ヲ手形
ノ本文内又ハ署名ノ場所ニ記入スレハ可ナリト成リ居レリ

(-) 無印證書

通常ノ無印證書ノ場合ニハ必スシモ本人ノ名前ヲ證書ニ書キ出スニ及ハス只^タ證書全体ヨリシテ本人ノ契約ナリト見爲サル、場合ナルカ或^ハ少クトモ代理人カ自己ノ爲ニ契約ヲ爲スニ非ストノ事見ユレハ夫レニテ代理人ハ正當ニ代理權ヲ執行シタルモノトスル規則ナリ結局一定ノ書式無シト云フテ可ナリ然シナカラ書面上ニ代理人ノ取結ヒタル契約ハ本人ノ契約ナリト認ムヘキ跡ナキトキハ代理人自己ノ契約ト爲ルモノニテ證言ヲ以テ之ヲ本人何某ノ契約ナリト證明スルコトヲ得サルナリ諸君ハ證據法ニテ聽カル、コトナランカ凡ソ書面ニ記載アルコトハ口上ヲ以テ之ヲ増減變更スルコトヲ得スト云フ原則アリ左レハ書面上ヨリ見レハ全ク代理人ノ契約ナリト見ユルモノヲコレハ本人ノ契約ナリト云フ得サルナリ然シナカラ代理人自身ノミナラス其本人タルモノモ此契約ニ關係アリト云フ證據ヲ舉クルコト

ヲ得其理由ハ自分ハ勿論契約者ナレトモ尙ホ一人此契約ニ就テ權利
ヲ有シ義務ヲ負フモノアリトノコトナレハ前ニ申シタル證據法ノ原
則ヲ覆スニ非サレハナリ

畢竟捺印證書流通證書ノ場合ヲ除クノ外ハ初メニ本人ノ名ヲ云ハス
シテ代理人ノ結ヒタル契約ニ付キ後日本人ハ權利ヲ主張スルコトヲ
得又契約ノ對手モ本人ヲ發見スル時ハ之ニ義務ヲ盡サシムルコトヲ
得ルナリ此品ハ自分ハ入用ナキモ他人ノ爲メニ買ヒ置カント云フテ
物品ヲ買入ル、ナトハ我々社會ニモ往々アルコトナルカ此場合ニ於
テハ後日本人ヨリモ出訴スルコトヲ得又賣人ヨリモ本人ヲ訴へ得ル
コトナリ

扱右ノ如ク法式ヲ守リテ契約ヲ爲シテモ代理人ノ所爲ノ結果ハ猶ホ
本人ニ歸セサル場合アリ(注意迄ニ申置ハ拙者カ此處ニテ申シ居ルハ

本人ト代理人トノ關係ニシテ本人ト第三者トノ間ノコトニアラサルナリ例ヘハ代理人カ越權ノ處分ヲ爲セハ法式ハ相當ナルモ本人ハ責メニ任セサルナリ然シ乍ラ代理人ハ必ラス命令ノ通りニ委任權ヲ行ハサレハ常ニ本人ニ對シテ責任ヲ帶ルト云フニアラス委任權ヲ執行スル當時ノ情狀ノ許ス限り代理人カ委任ノ趣意ヲ貫クトキハ命令ト少差アル本人ハ責メニ任セサルヘカラス例ヘハ米百石ヲ買入ル、コトヲ委任セラレタル人當時市中ニ九十九石ノ外無キ故ニ其レ丈ケ買ヒ入ル、モ元ト本人ノ趣意ヲ貫クモノナレハ一石不足スルト云フテ本人責メニ任セサルコトハ得サルナリ

然レトモ通常ハ代理人ニ於テ委任ヲ受ケタル通りニ執行ヲナサ、ル可カラサルハ勿論ノコトナリ若シ其權限内實ノ訓示ニ由リ制限セラ
ル、トキハ代理人ハ其訓示ニ從フ可キナリ相當ノ事故ナクシテ其訓

示ニ背クトキハ其所爲ハ越權トナリ從テ本人ニ對シテ責任ヲ負ハサル可カラス假令斯クスレハ却テ本人ノ爲メトナリ本人ヲ利セント思フテ爲シタルコトナリトモ本人ニ對スル責任ヲ免カル、コト能ハス然レトモ此規則ニハ僅カノ取除アリ

第一ハ必要ノ場合ナリ即チ圖ヲサル事件ノ起リシトキハ訓示ヲ守ラストモ代理人ノ處分ハ越權ノ處分トハナラサルナリ例ヘハ貨物賣却ノコトヲ委任セラレタル代理人十二月一日ニ横濱表ニ於テ其貨物ヲ賣ル可シトノ訓示ヲ受ケタルモノト假リニ定ムルニ若シ其貨物カ腐敗スルノ恐アルモノナル時ハ來月ノ一日ヲ待タス又横濱ニ運ハスシテ今日東京ニ於テ賣却スルコトヲ得蓋シ待チ居レサル必要アルヲ以テ此訓示ヲ守ラサルモ苦カラス

次ニ訓示ノ趣旨ノ不分明ナルニヨリテ其本人ノ意ニ反シタル處置ヲ

爲シタルトキハ矢張越權ノ處分ニアラス假令ハ訓示ノ文言ハ二様ニ
解釋シ得ラル。モノナルトキハ代理人タルモノハ自分ノ解釋通りニ
委任權ヲ執行ス可キナリ偶マ其解釋ハ本人ノ意味ニ反對シテモ其ハ
越權ノ處分トハナラサルナリ是レ必竟訓示ヲ與ヘタルモノ、過ナル
ヲ以テ本人其責ヲ負ハサル可カラス

訓示ナキ場合ニ於テハ代理人ハ其取扱フ業務上ノ習慣ニ由テ委任權
ヲ行ハサル可カラス例ヘハ請合ヲナシテ物品ヲ賣ルノ習慣ナキ時ハ
其習慣ニ背テ請合ヲナスコトヲ得スト雖モ掛賣(二)ヲナスノ習慣アルト
キハ敢テ現金賣買ニアラサルモ可ナルカ如シ後例ノ場合ニ於テ若シ
後日取引先ニ於テ身代限ヲナス時ハ矢張本人其損失ヲ蒙ラサル可カ
ラス

又凡ソ代理人ハ正實ヲ旨トシテ其委任權ヲ執行ス可キナリ故ニ總テ

諸勘定ヲ明白ニシテ而シテ本人ノ檢査ニ供シ又諸々ノ報告等ヲ得ル時ハ其報告ノ趣ヲ本人ニ傳ヘサル可カラス

若シ委任ノ事柄ヲ取扱フニ付テ利得ヲ得タルトキハ之ヲ本人ニ返サ、サル可カラス幾何^{イッテ}モ代理人カ委任權ヲ執行スル時ニ當リ對手人ヨリ禮金或ハ又兼テヨリ何卒自分ハ約束ヲ受ケタキ抔ト云フテ金ヲ送ルコトアリ此等ノ金ハ自用ニ供スルコトヲ得ス悉皆本人ニ送ラサル可カラス必竟代理人カ本人ニ物ヲ賣ルコトヲ得サルハ此點ヨリ見テモ明カナリ何トナレハ若シ己レ物品ヲ賣ルコトヲ得ルトセハ利純ヲ占ムルニ至ルヲ以テナリ

偕是迄ニテ委任權執行ノ事ヲ講シ了リシカ代理人ハ果シテ正當ニ其委任權ノ執行ヲ卒ヘタルモノト假定セハ其次ニ起ル問題ハ誰カ委任權ノ執行ヨリ生スル利益ヲ受ケ又タ損失ヲ被ル乎ト云フノ事是ナリ

(三) Liability of Painciple

任本人ノ責

(四) Qui faeit per alium facit per se.

此問題ニ答フルニハ第一本人ノ責任ヲ論セサル可カラス因テ以下述
ル事柄ヲ本人ノ責任ト題ス

(三) 本人ノ責任

本人ノ責任ニ左ノ二種類アリ

第一 第三者ニ對スル本人ノ責任

第二 代理者ニ對スル本人ノ責任

(四) 第一 第三者ニ對スル本人ノ責任 此所ニ適用サル、法律格言アリ

他人ヲシテ事ヲナサシムルモノハ自ラ之ヲ爲スモノナリト此格言タ
ル唯此部分ニ適用サル、ノミナラス代理法全体ノ一大原則ト謂フテ
可ナルモノナリ之ヲ直接ニ言ヘハ委任權内ニ於テ代理人ノ爲シタル
所爲ハ本人自ラノ所爲トナルト云フニ過キサルナリ而シテ是レハ代
理人ノ所爲ニ由リテ生スル權利ハ本人之ヲ受ケ代理人ノ所爲ニ由リ

テ生スル義務ハ本人之ヲ負フト云フニ外ナラス又之ヲ反對ノ位置ヨ
リ云ヘハ第三者ナルモノハ代理人ニ對シテ權利ヲ有シ義務ヲ負フモ
ノニアラスシテ本人ニ對シテ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノナリ
本人ヨリシテ第三者ニ係テ其義務ヲ果サシムル時ニハ代理人カ正當
ノ權限ヲ持チ居タルコトヲ證明セサル可カラス但シ此處ニハ本人ノ
責任ヲ説クヘキカ故ニ其反對ヨリ論ス第三者ハ本人ニ對シテ權利ヲ
主張セントスル時ハ事實代理人ハ委任權ヲ有セシコト并ニ代理人ノ
所爲ハ其委任權内ニアリシ事ヲ證明セサル可カラス又ハ本人ノ所爲
ハ第三者ヲシテ代理ノ關係ノ存在スルコト及ヒ代理人ノ所爲其權限
内ニアルコトヲ信セシメタルコトヲ證明セサル可カラス
諸本人ノ第三者ニ對スル責任ニハ是亦タ二様アルコトナリ

其一 契約上ノ責任

其二 私犯上ノ責任

其一契約上ノ責任 本人其代理人ノ爲シタル契約ニ付テ責任ヲ負フ
場合ハ勿論代理人ノ正當ニ其權力ヲ執行シタル時ニアリ又本人ヨリ
事實權力ヲ與ヘサル時ニアリテモ其所爲ヨリシテ代理權ヲ與ヘタリ
ト云フ推測ノ下ル可キトキハ是レ又代理人ト見ヘル者ノ爲シタル契
約ニ付テ責任ヲ負フモノナリ其理由タル前ニモ述ヘシコトアリシカ
通常ハ二人ノ者ノ損害ヲ受ク可キ場合ニハ其損失ヲ來サシメタル者
ノ方責任ヲ負フ可シトノ規則アルニ因ルナリ此時ハ本人ノ過チヨリ
シテ起リタル事柄ナルヲ以テ其責ヲ負ハサル可カラサルハ此理ニ由
ルモノトス

本人ハ代理人ノ爲シタル契約ニ付テ責任ヲ負フコトハ代理人ノ契約
ヲナシタル當時ニ其姓名ヲ第三者ニ知ラレサル時ニ於テモ亦然リト

ス但捺印契約流通證書ノ場合ニハ適用スルコト能ハス其他ノ契約書
又ハ口約ノ場合ニ於テハ代理人カ當時本人ノ名前ヲ以テ契約セサル
モ後日何某ノ本人タルコトヲ發見シタルトキハ第三者ハ直チニ其本
人ニ責ヲ負ハシムルコトヲ得ルモノナリ此規則ハ假令ヒ其當時ニ於
テ第三者ハ代理人ヲ本人ナリト信スル時ニ於テモ適用シ得ルモノト
ス是レ前述ノ格言ニ依リ事實代理人ヲシテ爲サシメタル契約ハ即チ
本人ノ契約ナルヲ以テナリ而シテ此理ハ契約ノ當時第三者ノ心底如
何ニ由テ變ル可キ謂レナキナリ
又假令第三者ハ其取引ノ當時ニ於テ本人アルコトヲ知リシモ其姓名
ヲ知ラサリシ時ニ於テハ是レ亦後日何某ナルコトヲ發見シタルトキ
ハ其者ニ對シテ責任ヲ負ハシムルコトヲ得代理人カ其本人ノ姓名ヲ
明サ、ル限リハ知レサル本人ノミニ信用ヲ置ントスルモ置クコト能

ハスト雖モ初メヨリ代理人外ニ本人アルコトヲ知ルカ故ニ他日本人ノ何人タルコト分ル時ハ之ニ對シテ義務ノ執行ヲ求メントスルノ意思アルコト當然ナリ最初ノ場合ニ比スレハ此場合ニ前陳格言ノ適用ス可キコト一層明白ナリト謂フ可シ

之ニ反シテ最初ヨリ本人ノ名前ノ明カナル時ニ態々代理人ノ方ヲ信シテ之ト契約ヲナス時ハ第三者ハ後日ニ至リ契約上義務ノ執行ヲ本人ニ對シテ迫ルコトヲ得ス何トナレハ本人ノ誰タルコトヲ知リツ、故ラニ代理人タル者契約スルハ本人ヲ斥ケテ代理人ナル何某ヲ特信シタレハナリ本人ト契約スルコトヲ好マスシテ自己ノ撰擇ニ依リ代理人タル者ト契約シタレハナリ

又本人ノ責任ハ代理人權力ナクシテ契約ヲ結ヒシ場合ニ於テモ追認ニ由リテ責任ヲ生スルコトアリ

茲ニ又契約上ノ責任ト私犯上ノ責任トノ間ニ位スル事柄アリ之ヲ何ニカト云フニ代理人ノナシタル僞示ヨリシテ生スル責任ノコト是ナリ英吉利法律ニ於テハ訴訟ノ方式ニ契約上ト私犯上トノ區別アルコトナルカ代理人ノ僞示ニ付キ本人ヲ訴フル者ハ己ノ擇ム所ニ隨ヒ甲乙ノ方式孰レニ由ルモ勝手ナルコトナリ契約ノ節代理人ノ申聞ケタル事實ハ相違スルカ故ニ違約ナリト云ヘハ契約上ノ訴訟ニシテ本人カ代理人ヲシテ詐僞ヲ行ナハシメタリト云ヘハ私犯上ノ訴ナリ勿論代理人ハ本人ノ許ヲ得テ僞示ヲナシタル時ハ本人其責ニ任セサルヲ得ス右ハ説明ヲ要セル程ニモ非ス此レハ代理人ノナシタル僞示ハ本人ノ關係セサルヲ以テ本人其責ヲ負フモノナリトス但シ代理人僞示ヲナスニモ種々ノ場合アルヲ以テ漸チ追フテ講述ス可シ代理人ナルモノ其僞示シタルコトヲ知ラスシテ爲シ而シテ本人ニ於

テハ其事實ニ反スルコトヲ知り居ル場合ハ如何本人其責ニ任ス可キ
カ矢張本人其責ニ任スルト云フ規則ニナリ居ルナリ此問題ニ至テハ
隨分議論ノアルコトニシテ元來代理人ハ信實ナリト思フテ第三者ニ
表示セシ事ナレハ代理人ハ固ヨリ善意ナルモノナリ左レハ本人ニモ
責アル可カラストノ判決例アリタレトモ肝腎ノ本人ニ於テ僞示ナルコ
トヲ知リツ、不實ノ契約ヨリ利ヲ占ム可キ筈ナシトノ議論多クナリ
來リテ今日ノ所ニテハ本人ニ責任ヲ負ハシムル事ニ定マレリ是レ代
理人ノ僞示ヲナスハ本人ノ爲メニシテ本人モ亦タ其詐リナルコトヲ
知テ取引ヲナスハ代理人ノ爲シタル所爲ヲ追認スルモノト見做ヲ以
テナリ然レトモ若シ本人正實ニシテ之レカ代理人タル者故意ニ僞示
ヲナシタル時ハ如何前ト同シク決定シテ不可ナルコトナキカ此問題
ハ一層ノ困難ヲ極ムルモノナリ本人ハ其事ヲ確信シテ表示サセタル

モノナレハ本人ハ第三者ニ對シテ責任ヲ負荷スルコトアル可カラ
トノ論アリタレトモ代理人ノ知識ハ即チ本人ノ知識ニシテ代理人ノ僞
リハ本人之ヲ知リシモノトナスヲ以テ矢張本人其責ニ任セサル可ラ
ストナレリ勿論本人ニ於テ代理人ノナシタル表示ノ僞リナルコトヲ
覺知スル時ハ自カラ其契約ヲ取消スコトヲ得然レトモ第三者ニ於テ
契約ヨリ生スル自己ノ義務ヲ盡シタル時ハ本人ハ矢張第三者ヲシテ
原位ニ復セシムルノ責任アルモノトス
サテ私犯上ノ訴ヲ以テ代理人ノ僞示ニ對スル責ヲ本人ニ負ハシムル
コトヲ得ルカ此問題モ大ニ議論ノアルコトナレトモ結局ハ本人其責
ニ任スルト云フコトニ歸着セリ
有名ナル判決例ニ傳染病ニカ、リタル羊ヲ賣リタル訴訟アリ其訴訟
ノ事實ヲ尋レハ代理人其病羊ナルコトヲ知リテ賣リシカトモ本人ハ

之ヲ知ラサリシナリ右ノ事實アルトキハ第三者ハ欺カレタリ迎本人
 ニ係リ損害賠償ノ訴ヲ起シ得可キ乎矢張本人ニ係テ要求シ得ルコト
 、ナレリ諸君ハ私犯法ノ講義ニ於テ既ニ聽聞セラレシナランカ是ヲ
 詐欺ノ訴訟ト云フ此規則ニ付テハ隨分論難ス可キ点アリ乃チ詐欺ノ
 訴訟ハ現在不實ノ事柄ナルコトヲ知リツ、之ヲ眞實ナリト披露シテ
 他人ニ信ヲ置シメタル人ニ對スルニアリサレハ起スコトヲ得サルモ
 ノ、如シ然ルニ本件ノ事實ニ由レハ代理人ハ相違モナク詐僞ヲ行ヒ
 タルコトナカラ本人ハ全ク其僞示ナルコトヲ知ラサリシ次第ナレハ
 之ヲ稱シテ詐僞者トハ謂フ可ラス他ノ理由ニ據ラハ兎モ角モ善意ノ
 者ニ詐僞ノ責ヲ負ハシムルト云フハ不當ナルモノ、如シ顧フニ本人
 ハ僞示ヨリ生シタル契約ノ結果ヲ得從テ其契約全般ヲ認可シタルモ
 ノナレハ到底其責ニ任セサル可カラストノ理由ニ依ルチ穩當トス可

(-) Maxim

キカ如シ乃チ代理人ノ爲シタル事柄ハ本人ノ爲シタルモノナリト云
 フノ原則ニ基ツキ本人ノ責任ヲ契約上ノ責任ト爲ス可キモノ、如シ
 本人ノ第三者ニ對スル私犯上ノ責任
 凡ソ本人カ代理人ノ私犯ニ對シテ第三者ニ責任ヲ負フハ確然一定ノ
 規則ナリ然ルニ本人此ノ責任ヲ負フヘキ場合ニ二種アリ尤モ此區別
 ハ全ク相關係セサルモノニシテ一ノ場合ニ於テ本人ノ責任ヲ負フノ
 理由ハ他ノ場合ニ於テ責任ヲ生スルノ理由ト全ク相異ナルカ故ニ諸
 君ニ於テ此區別アルコトヲ記憶スルハ最モ必要ナリ
 第一 本人カ代理人ヲシテ私犯タル所爲ヲ爲サシメタル場合
 此場合ニハ固ヨリ前回ニ述タル法律格言アリテ代理人ノ爲シタル所
 爲ハ即チ本人ノ所爲ナルカ故ニ本人其責任ヲ負フヘキモノトス
 第二 代理人ノ爲シタル所爲ハ豫メ本人ノ命シタルニモ非ラス又後

(三) Every one is responsible
for his own acts only.

(二) Negligence

日本人ノ追認シタルモノニモ非サル場合
此場合ニ於テ本人ノ第三者ニ對シテ責任ヲ負フ理由ハ如何ニト問フ
ニ通常ノ答ニハ政署上ヨリ出ツルモノト謂フ例ハ代理人カ本人ノ
命令ヲ行フ爲メニ馬車ヲ驅ルノ際不注意ニ因リ他人ニ乘掛ケ之ニ負
傷セシメタル時ハ本人其負傷ノ責ニ任セサル可カラス
此場合ニ於テ代理人ノ不注意ハ決シテ本人ノ命シタルモノニ非ラス
又追認セシニモアラスト雖モ矢張本人ハ其責ヲ免カル、能ハス而シ
テ其責任ヲ負ハシムルニハ唯第三者ヨリシテ代理人カ右ノ如キ危害
ノ所爲ヲ爲シタル當時本人ノ用ヲ達シ居タリトノ證明ヲナスヲ以テ
足レリトス畢竟代理人其服務區域内ニ勞働スル限リハ其私犯ヨリ生
スル責任ハ本人之ヲ負フモノナリ
然ラハ則此規則ハ人各自己ノ所爲ノミニ對シテ責任ヲ負フト云フ大

原則ニ背クヲ以テ須ラク其理由アラサルヘカラス而シテ其理由ハ何
カト問フニベンサム及ヒオースチン氏ハ之ニ答テ曰ク本人ハ代理人
ヲ撰ムニ不注意ナリシヲ以テ其責任ヲ負フヘシト今之ヲ詳言セハ本
人タル者代理人ヲ撰定スルニ方リテ不都合ナル者ヲ黜ケテ善良ナル
者ヲ雇コト固ヨリ意ノマヽナルニ撰任ヲ等閑ニシテ不都合ナル代理
人ヲ使用シタルヨリ第三者ニ損害ヲ與ヘタルヲ以テ本人其責任ヲ免
カルハコトヲ得ストノ趣意ナリ
然レトモ此説明ノミニ據レハ尙不満足ナルモノアリ何トナレハ代理
人ヲ撰ムニ方リテ出來ヘキ丈ケノ注意ヲ爲サヽルヲ以テ本人其責任
ヲ負フトスルモ前顯馬車ノ例ニ於テハ本人充分ノ注意ヲ盡シタルコ
トヲ證明スルトモ尙^ホ其責任ヲ免カルヘカラス然ラハ則他ニ又理由ナ
カルヘカラス蓋シ其理由ハ學者并ニ裁判所ニ於テ通常唱フル處ニシ

テ前ニ言フ政畧上即チ公益上ノ理由ナリトス左ニ之ヲ説明セン
凡ソ被害者ハ唯空權利ヲ持スルノミヲ以テ満足スヘキニアラス必ス
ヤ損害ヲ賠償シ得ル權利ナカルヘカラス然ルニ代理人及ヒ奴僕等ハ
被害者ニ對シテ義務ヲ盡スノ力即チ賠償ノ資力ナキモノナリ之ニ反
シテ本人若クハ主人タルモノハ通常充分ナル賠償ノ資力ヲ有スル者
ナリ是故ニ本人ハ第三者即チ被害者ニ責任ヲ負フヘキナリ
然レトモ加害者ニ資力ナキハ實際加害ノ所爲ナキ者ニ責任ヲ負荷セ
シムルノ理由トナスヘカラス即チ甲者乙者ヲ害シ自己全ク其責任ヲ
負フヘキニ却テ丙者ニ其責任ヲ負ハシムル理アラサレハナリ左レハ
尙ホ他ニ理由ノ存在セサルヘカラス而シテ其理由ハ代理ノ沿革ヨリ
生スルモノナルカ故ニ此沿革ヲ説明スルハ其理由ヲ知ルニ最モ便利
ナリト信ス

(三)Respondent Superior
 (-)Servant
 (=)Master

既ニ第一回講義ノ時ニ於テ説明セシ如ク代理ノ起原ハ奴隸ニアリテ
 奴隸ナルモノハ自己一人ノ身分ヲ有セヌ唯其所有者ノ身分ヲ代表ス
 ルノミナレハ其權利義務ハ悉皆其所有者ノ權利義務ニシテ自己一人
 ニ權利義務ヲ有スルコトヲ得ス故ニ所有者ハ亦奴隸ノ爲セシ所爲ニ
 就テ責任ヲ負ハサル可カラサリシナリ而シテ奴隸ノ所爲ノ結果ハ總
 テ其所有主ニ歸スルト云フ者ハ奴隸制度ノ廢レタル後マテニ傳ハレ
 リ而シテ奴隸ノ一段進化シタル者ハ奴僕⁽⁻⁾ナリ乃チ奴僕ハ直チニ奴隸
 ニ次テ世ニ顯出シタル者ナレハ其主人ニ對スル關係ハ自ツカラ奴隸
 ト其所有者間ノ關係ニ彷彿タルコト多ク則チ奴僕ノ私犯ノ責ハ主人⁽⁼⁾
 ニ歸スルトノ規則アルモ其一例ナリ
 サテ斯責任ヲ本人ニ負ハスルニ付テハ法律ノ格言アリ上タル者ハ下^(三)
 タル者ノ所爲ニ付テ責任ヲ負ハサル可カラスト乍併此格言ハ代理ノ

場合ニ於テ常ニ適用スヘキモノニ非スシテ代理ノ或種類即チ奴僕ノ
 場合ニノミ適用セラル、モノトス
 然ラハ通常ノ代理人ト奴僕トノ差違ハ如何オースチン之ニ答テ曰ク
 代理人ノ本人ニ對シテ負フ處ノ服務ハ種類確定シテ數ニ於テモ亦僅
 少ナリ然ルニ通常奴僕ノ服務ハ種類及ヒ數ニ於テ制限ナシ若シ又種
 類確定スルモ數ニ於テ不確定ナルモノナリト此區別ハ概畧相當ナル
 カ如シ何トナレハ奴僕ハ前言セルカ如ク時ノ點ヨリシテ直チニ奴隸
 ニ次クモノニシテ奴隸ト趣キテ同フスルコト多キカ故ニ何ニテモ主
 人ノ申付ヲ爲スヘキモノナレトモ代理人ハ事柄ヲ極メテ委任ヲ受ケ
 本人ノ爲メニ用ヲ足スモノナルカ故ニ服務ノ種類ニモ制限アリ事務
 ノ數モ亦少シ即通常代理人ノ服務ハ契約ニ基クテ以テ約束丈ケノ事
 柄ニ限レハナリ然レトモオースチン氏ノ區別方ハ唯概畧相當ナルニ

合
主
人
ニ
對
シ

過キスシテ如何ナル場合ニテモ通用ス可キニアラス例ハ八種々ノ事柄ヲ委任セラレタル代理人ノ如キ殆ント奴僕ト同シキ場合モアルヘシ
畢竟通常代理人ト奴僕トノ區別ハ左ノ如クナルヘキカ如シ代理人危害ノ懼アル所爲ヲ爲ス時又ハ危害ノ懼アル方便ヲ用フル時ニ本人之ヲ禁止スルノ權アリテ奴僕其禁令ヲ守ルノ義務アル場合ニ於テハ兩人間ニ主僕ノ關係アルモノニシテ代理人ニ此義務ナケレハ其者ハ通常代理人ナリ即チ奴僕自己ノ行狀ヲ制限セラル、義務アレトモ代理人事柄ヲ委任セラレタル以上ハ如何ナル事ヲ爲スモ決シテ本人ヨリ制限セラル、モノニアラス
扱主僕間ニハ僕ノ私犯ニ對シテ主人ハ常ニ責任ヲ負フヘキモノナルカ主人カ責任ヲ負フト否トヲ定ムルニ就テ問フヘキ問題ハ其害ヲ生

代理法

八十七

二九

二八

主人ニ責
任ナキ場
合

シタル格段ナル所爲ハ主人ノ命令ニ由リタルヤ否ヤニ非ラスシテ唯
 其害ノ生シタル所爲ヲ爲シタル當時ニ奴僕ハ其服務ノ區域内ノコト
 ナ爲シ居リシヤ否ヤ即チ本人ノ用ヲ達シテ居リシヤ否ヤニ在ルナリ
 然ルニ奴僕ノ私犯ニモ種々アリ
 第一ハ奴僕ノ懈怠ヨリシテ他人ニ害ヲ與ヘタル場合第二ハ奴僕力故
 意ニ他人ニ害ヲ加ヘシ場合之ナリ而シテ孰レノ場合ニ於テモ奴僕其
 服務中ニ加害ノ所爲ヲ爲シタルトキハ主人之カ責任ヲ負ハサルヘカ
 ラスシテ害ノ懈怠ヨリ生スルト否トニ拘ハラズ自己ノ命令又ハ訓示
 ナクシテ奴僕其所爲ヲ爲セシト云フモ決シテ其責任ヲ免カル、コト
 ナ得サルモノナリ
 然レトモ奴僕主人ノ命令セル服務ノ區域外ニ於テ不正ノ所爲ヲ爲シ
 タルトキハ主人其責任ヲ負ハサルナリ而シテ左ノ場合ニ於テハ奴僕

其服務區域外ニ於テ所爲ヲ爲シタルモノトス
第一主人自カラ或所爲ヲ爲スノ權ナキ場合ニ於テ奴僕其所爲ヲ爲シ
タルトキ此場合ニ於テ反對ノ證據アラサル限りハ主人其責ニ任セス
何トナレハ自カラ爲スノ權利ナキ事柄ハ他人ヲシテ之ヲ爲サシムル
コトヲ得サレハナリ
第二奴僕若シ自用ヲ達スル時此場合ニ於テハ假令主人ノ用ヲ達スル
ト同時若クハ其前後ニテモ主人其責ニ任セス例ヘハ奴僕ハ主人ノ爲
メニ馬車ヲ驅リテ主用ヲ辨シタル後朋友ノ許ニ至ルノ途中ニテ他人
ヲ負傷セシメ若クハ主用ヲ辨スルノ前ニ擅ニ支道ニ詣リテ損害ヲ生
セシ時ノ如キ主人其責ニ任セサルナリ此ノ如キ場合ニハ奴僕タル者
主人ノ財産ヲ使用セシ事柄ハ必要ノ論點ニアラストス
又通常甲ノ奴僕ニテモ害ヲ爲シタル當時ニアリテ乙ノ使役ニ服シ居

ルトキハ甲ニ責任ナシ然レトモ他人ノ爲メニ服役スルト云フ事ノミ
チ以テ常ニ主人ノ責ヲ免スルト云フニアラス卽チ當時主人ニ代リテ
奴僕ヲ使役スル人ニシテ若シ指揮命令ノ權ナケレハ主人ノ力責ヲ負
フヘシ例エハ甲ハ乙ニ奉公スル下男ナルモ若シ乙ノ親類ナル丙カ甲
ヲ借用シテ使役スル間ハ甲ハ丙ノ僕トナルナリ故ニ丙家ニ服役スル
ノ際甲ニ私犯ノ所爲アレハ丙其責ニ任セサル可ラス又之ニ反シテ或
ル面白キ裁判例ニ據レハ甲帆船入港前ニ小汽船ヲ引船ニ雇ヒ之ニ引
カレテ港ニ入ルノ際乙帆船ト衝突シ之ヲ破損セシメタルニ因リ乙帆
船ヨリ甲帆船ニ對シテ起訴シタル場合ノ判決ニ曰ク引船ノ進行スル
方向ニ付テハ甲帆船ノ船長ニ指揮命令ノ權ナキカ故ニ甲帆船ト引船
ノ間ニ主人代理人ノ關係ナク隨テ甲帆船ハ引船ノ所爲ニ付キ責ヲ負
フヘキモノニアラスト然シ此場合ニヨリテハ奴僕ノ所爲ノ果シテ其

區域内ニ在ルヤ否ヲ判別スルモノナリ或判例ニ由レハ甲己レノ甲板
ヲ造ル爲メ其僕乙ヲシテ板ヲ削ラシメタリシニ乙ノ友丙細工場ニ來
リ煙草ノ火ヲ請ヒタルヲ以テ乙ハ何心ナク摺附木ヲ燃シテ火ヲ與フ
ル際火ハ鉋屑ニ燃付キ延ヒテ小屋及ヒ丁ノ家ヲ類焼セシメタリ是ニ
於テ丁ヨリ甲ニ對シテ損害要償ノ訴ヲ爲セリ而シテ此時ノ問題ハ乙
カ丙ニ火ヲ與ヘシハ主人ノ用ヲ達セシ時ト云フヘキヤ否ヤノコト
ニシテ種々爭論ノ末傭主即チ本人カ其責ニ任スヘシト判決セラレ
タリ

前回ニハ代理人ノ私犯ニ對シ本人カ第三者ニ對シ責任ヲ負擔スルハ
上タルモノハ下タルモノ、所爲ニ就キ責任ヲ負擔ス可シトノ法律格
言ニ依ルモノナリト云ヘリ併シ此上タルモノハ下タルモノ、所爲ニ
就キテ責任ヲ負擔スルト云フ格言ハ官吏ニハ適用セサルナリ例ヘハ

(-)Contractor
or
Independent Contractor

官省ノ課長局長ハ自己ノ配下ノ屬僚ノ所爲ニ就テハ責任ヲ負擔セサルナリ勿論自己ノ配下ナル僚屬ノ所爲ニ就キテモ長官ニ對シ責任ヲ負擔スルハ當然ナレトモ世間ニ對シテハ假令僚屬ノ所爲カ私犯ニ該ルモ課長局長ハ責任ヲ負ハスシテ僚屬各自其責メニ任スルモノナリ此法律格言ノ適用セラル、場合ハ主人ト奴僕ニ限ルコトヲ云ヒ又進テ通常ノ代理人ト奴僕トノ區別ハ代理人タルモノノ危害アル所爲ヲ爲ストキ又ハ或ル所爲ヲ爲スニ付キ危害アル方法ヲ用ヒントスルトキ本人ヨリ其危害アル所爲若クハ方便ヲ用フルヲ禁シタル時ニ於テ代理人タルモノ之ヲ止ムルノ義務アル場合ニ於テハ其代理人ハ奴僕ニシテ其義務ナケレハ通常ノ代理人ナリト云ヘリ又爰ニ必要ナル區別ハ奴僕ト請負人トノ區別ナリ何トナレハ請負人ニハ前ノ法律格言ヲ適用セサル規則ナレハナリ請負人トハ原語ニテ

「(一)コントラクトル」又「(一)インデペンント、コントラクトル」ト謂フ之ヲ直譯スレハ獨立ノ契約者ト云フ義ナリ然リ而シテ請負人ト請負ヲ依頼スルモノトノ間ニハ主人ト奴僕ノ關係無シ何トナレハ請負人ハ決シテ請負依頼者ノ指揮ヲ受クルモノニアラスシテ如何様ニ仕事ヲ爲スモ勝手ナレハナリ斯クノ如ク主僕ノ關係ナキヲ以テ請負人ノ所爲ニ就テ請負依頼者ハ責任ヲ負ハサルナリ例ヘハ大工カ普請ヲ請負ヒ工事中其過失ヨリシテ第三者ニ害ヲ加ヘタル時責任ヲ負擔スルモノハ請負依頼者ニアラスシテ請負人即チ大工自ラニ在リトス是ノ理論ハ幾段經過スルモ同様ニシテ請負人カ又更ニ他人ニ請負ハシメタル場合ニ於テハ請負人ハ下請負人ノ所爲ニ付テ責任ヲ負ハサルナリ併シ乍ラ茲ニ請負依頼者ニ於テ責任ヲ負擔スル場合アリ即チ法律ノ特命ニ依リ其人自ラ或ル所爲ヲ爲シ又ハ爲サ、ル義務アルトキハ其

務報酬ノ義 (二) Liability of Principal as to Agent.
 (三) Compensation.

所爲ヲ他人ニ爲サシメ以テ自ラ責任ヲ免ル、ヲ得ス例ハ法律ハ特別ニ甲ナルモノニ義務ヲ負ハシメタルトキ甲ハ乙ヲシテ之ヲ爲サシメ以テ自ラ責任ヲ免ル、ヲ得ス尙ホ實例ヲ設ケテ申セハ法律カ鐵道會社ニ命スルニ滌車ノ通過スル所ニハ必ス柵ヲ設ケヘシトノコトヲ以テシタルトキハ鐵道會社ハ請負人ヲシテ柵ヲ作ラシメタルニ柵ノ不完全ナルヨリシテ人若クハ獸類ニ損害ヲ與ヘタルトキハ鐵道會社自ラ責任ヲ負ハサルヘカラサルナリ何トナレハ法律カ特別ニ鐵道會社ニ柵ヲ設ケヘキ義務ヲ命シタルモノナレハ鐵道會社ハ何處迄モ此命ヲ遵奉セサルヘカラサルモノニシテ違法ノ責任ヲ他人ニ移スヲ得サレハナリ

本人ノ代理人ニ對スル責任

第一本人ハ其代理人ニ相當ノ報酬ヲ與フル義務アリ即チ本人ハ特別

ニ契約セサルモ必ス報酬ヲ代理人ニ與ヘサルヘカラサル義務アリト
 ス但特別^(四)ノ契約アルカ又ハ事務ノ性質ヨリシテ報酬ヲ與フルモノニ
 アラサルトキハ例外ナリ此規則ハ佛蘭西ノ法律トハ異ナリ佛國民法
 千九百八十六條ヲ見ルニ特約ナキ限りハ本人報酬ヲ與フル義務ナシ
 トセリ即チ法文ニ曰ク代人ヲ任スルニ付テハ報酬ヲ出スニ及ハス但
 シ之ニ反シタル契約アルトキハ格別ナリトスト此報酬ハ原語ニテ^(五)コ
 ムミツシヨン_下云ヒ手數料又ハ口錢ト譯スヘキナリ而シテ此手數料
 又ハ口錢ハ勿論契約ニテ定メ又契約ナキトキハ營業ノ習慣ヨリシテ
 定ムルモノナリ例ヘハ株式仲買人ニ株式賣買ヲ依頼スルトキハ百圓
 ニ付キ幾何ト定リアルヲ以テ之ニ依頼シタルトキハ必ス其金高ヲ報
 酬トシテ與ヘサルヘカラサルナリ又習慣及契約モ無キトキハ其報酬
 ノ多寡ハ裁判所ニ於テ定ムルモノトス

- (*) Divisible contract
 (七) Indivisible contract
 (八) Quantum meruit

サテ代理人カ報酬ヲ得ルニハ通常委任セラレタル事ヲ取扱ヒ終リタ
 ル後ニ於テスルモノナレトモ若シ本人ノ所爲ヨリシテ委任ノ事柄ヲ
 完了スルヲ得サルトキハ縱令半途ニシテモ報酬ノ全額ヲ得ルコトア
 リ何トナレハ此場合ニ於テハ本人カ代理人ノ委任事件ヲ取行フニ障
 碍ヲ爲シタルモノニシテ代理人ハ毫モ過失ナケレハナリ然シ乍ラ或
 ハ契約ニ由リ或ハ事務ノ性質ヨリシテ割合ヲ以テ報酬ヲ受ケ得ルコ
 トアリ又全額ヲ請求シ得ルコトアリ諸君ハ契約法ニテ聽カル、ナラ
 ンカ凡ソ契約ニハ分ツ^(六)ヘキ契約ト分ツ^(七)ヘカラサル契約トアリテ分ツ
 ヘキ契約ノトキハ報酬ヲ受クルニ割合^(八)ヲ以テシ分ツヘカラサル契約
 ノトキハ全額ヲ受クルコトヲ得ルモノナリ

然ルニ代理人ハ委任事務ヲ完結スルトモ手數料ヲ得ラレサル場合ア
 リ即チ其委任ノ事柄ノ不法ナルコトヲ知リツ、取計フタルトキ是ナ

- (九)Advances
- (+)Warehouse Rent
- (±)Customs Duties
- (±)Freight

立替其他
ノ費金支
拂ノ義務

リ例へハ此物品ヲ密輸出セハ幾何金ヲ報酬トセント云フ契約ニテ税

關ノ檢査ヲ脱シ輸出ノ勞ヲ執ルト雖元ト密輸出ハ不正ノ事柄ナレハ

假令本人ヨリ報酬ヲ與ヘサルモ法律ハ敢テ救正セサルナリ

又代理人ニ於テ不正ノ事ヲ爲シ不注意ノ事ヲ爲ストキハ報酬ヲ得ル

コトヲ得ス例へハ本人ノ訓示ニ背キテ或事ヲ取計ヒタルカ又勘定ス

ヘキ時ニ勘定セサル等ノコトアレハ代理人ニ於テ報酬ヲ受クルヲ得

サルナリ

第二代理人ノ立替金其他ノ費用ヲ拂戻ス義務アリ勿論其費用タルヤ

委任ノ事柄ヲ執行スルニ付テ費用シタルモノニ限ルナリ例へハ藏敷

料海關稅船賃其他種々ノ費用ヲ立替ヘタルトキハ本人之ヲ拂ヒ戻ス

ノ義務アリトス而シテ此義務タルヤ假令委任ノ事柄ヲ完了セサルト

キト雖存スルモノニシテ敢テ委任ノ事柄ヲ達シタルト否トニ由リテ

代理人ノ
引留權

(十五)Lien of Agent (十三) Damages
(十四) Costs

義務ノ存否ヲ決セサルナリ又本人ハ代理人ノ立替ヘタル金ニ付キ利
足ヲ拂ハサルヘカラス其他代理人カ委任ノ事柄ニ付キ第三者ヨリ訴
ヘラレ損害賠償ヲ拂ヒ或ハ訴訟入費ヲ拂ヒタルトキハ契約ノ有無ニ
係ハラズ本人ハ之ヲ辨償セサル可ラサルナリ尤此場合ニテモ手數料
ノ時云ヘルカ如ク若シ代理人ニ於テ事業ノ不正ナルヲ知リツ、其事
業ニ費用シタル金額ハ本人之ヲ拂戻スノ義務ナシ例ヘハ前例ヲ再援
センニ密輸出ヲ企ルカ爲メ費シタル費用ノ如キハ之ヲ拂フノ義務ナ
キナリ〔私犯法ニテ凡ソ不正ノ事ヲ爲シタルヨリシテ損害ヲ受クルモ
法律ハ救正ヲ與ヘサルモノニシテ例ヘハ賭博ヲ行ヒ敗北シテ損害ヲ
受クルモノ之ヲ取戻スヲ得サルモノナリ〕
第三代理人ノ引留權
コノ第三ノ場合ハ本人ノ義務トシテ説明スルヨリハ寧ロ代理人ノ權

(七)Special Lien 種類
(六)General Lien 引留權ノ

(六)Lien

利トシテ申ス方便利ナレハ代理人ノ引留權トシテ講スヘシ即チ本人
カ或物品ヲ代理人ノ占有ニ置キ而シテ代理人ハ其物品ニ付キ金錢又
ハ勞力ヲ費シタルトキハ代理人ハ手數料其他ノ權利ノ抵償トシテ該
物品ヲ引留ムル權アリ之ヲ稱シテ引留權ト謂フ例ヘハ本人カ賣買仲
人ニ物品ノ賣却ヲ委任シ物品ヲ仲人ノ占有ニ置キタルニ若シ仲人ニ
於テ此物品ニ付キ立替金等ヲ爲シタルトキハ仲人ハ本人ノ返金セサル
間此物品ヲ引留置コトヲ得本人ハ之ヲ辨償セスシテ該物品ヲ取戻ス
ヲ得ス即チ代理人ハ返金ノ抵償トシテ物品ヲ引留置ク權利アリトス
凡引留權ハ自分ノ勞力若クハ金錢ヲ費シタル物品ニ付テノミ存スル
モノナレトモ之ヲ區別シテ二種類トス一般ノ引留權特別ノ引留權是
ナリ一般ノ引留權トハ債主ト負債主間ニ存スル諸勘定ニ就テ存在ス
ルモノヲ云ヒ特別ノ引留權トハ特別ノ金額ノ抵償トシテ特別ノ物品

件關引留權ニ
スル條ニ

(九) Conditions
(三) Possession

ニ付テ存在スルモノヲ云フ通常代理人ノ引留權ハ特別ノ引留權即チ
甲物品ニ費シタル勞力若クハ金錢ノ抵償トシテ甲物品ノミチ引留ル
ノ權ナリ例ヘハ爰ニ茶千箱ノ賣買ヲ委托セラレタル仲人アリト假定
シ其千箱ノ茶ヲ賣買スルニ就テ爲シタル立替金等ニ付キ此格段ナル
千箱ニ對シテノミ存スル引留權ハ特別引留權ナリ又以前二千箱ヲ賣
却シタル節ノ殘勘定ニ就キ此度ノ千箱ヲ引留メ得ル權利ハ一般ノ引
留權ナリ然而シテ代理人ノ引留權ハ特別引留權ニ屬スルヲ以テ通常
トス

此引留權ノ成立ニ必要ナル條件ヲ左ニ列擧スヘシ

第一 代理人ハ代理人ノ資格ヲ以テ引留ムヘキ物品ノ占有ヲ保タサ
ル可カラス

物品ノ占有ヲ保ツトハ現在物品ノ握有ヲ必要トスルニアラス奴僕又

ハ代理人ノ手中ニアルモ可ナリ約言スレハ占有トハ該物品カ自己ノ
管理内ニ存スルヲ謂フ然レトモ例令物品ヲ占有シ居ルモ引留權ノ生
セサル場合アリ即チ不正ノ所爲ヨリシテ其物品ヲ占有スルカ或ハ他
ノ權利ニ依リ例ヘハ代理人自己ノ所有物トシテ占有シタルトキ是ナ
リ
第二 引留權ヲ爲ス可キ債主額確定セサル可カラス
引留ヲ爲ス可キ債主額確定セスシテ後日ニ至リ増減變更ス可キモノ
ナレハ其抵償トシテ物品ヲ引留ムルヲ得サルナリ
第三 請求ス可キ金額ハ自分ノ權利ニ屬シテ且本人ニ對シ請求シ得
可キモノタルヲ要ス
故ニ代理人ノ勝手ニ使用シタル又代理人ニ支拂フ可キ金額アリトモ
其抵償トシテ本人ノ物品ヲ引留ルコトヲ得ス何トナレハ本人ト又代

引留權ノ
消失

理人トノ間ニハ直接ノ關係ナキノミナラス此請求權ハ又代理人カ第一ノ代理人ニ對シテ有スルモノニシテ第一ノ代理人カ本人ニ對シテ有スル所ノモノニ非サレハナリ

凡引留權ナルモノハ其引留メ居ル間ニ物品ヲ保存スル爲メ費シタル金額ニ付テハ存セサルナリ裏面ヨリ云フトキハ引留ヨリ以前ニ費シタル費用ニ限リテ存在スルモノナリ何トナレハ引留ナルモノハ本人ノ利益ニアラスシテ代人ノ利益ノ爲メナレハ其利益ヲ享クル代理人自ラ保存ノ費用ヲ拂ハサル可カラサレハナリ前ニ申ス如ク占有ハ引留權ニ必要ナル條件ナレハ其占有ヲ失フト同時ニ引留權ハ消滅スルモノナリ或ハ又物品ハ現在手中ニ在ルモ引留權ヲ拋棄シ本人一身ヲ信用スルトキハ亦此權消滅ス或ハ又特別ノ契約ヲナシ又ハ他ノ抵當ヲ取ルトキ亦同シ例ヘハ前ニ引キタル例ニテ茶千箱ノ外ニ抵當トシテ地

引留權ノ
目的

一般引留
權ヲ有ス
ル代理人
ノ種類

券ヲ取ルトキハ茶箱ニ付テハ此權消滅スヘシ又或ハ本人ニ反對ノ權
 利ニ由リ物品ヲ占有スル旨ヲ主張スル場合例エハ該引留ヲ爲ス物品
 ハ本人ノ物ニ非スシテ代理人自身ノ物品ナリト主張シテ占有スレハ
 此權消滅スルモノトス何トナレハ此場合ハ代理人ノ資格ニテ物品ヲ
 占有セサレハナリ

都テ代理人ノ引留權ヲ有スル目的ハ如何ト云エハ單ニ本人ヲシテ自
 分ニ受取ルヘキ金ヲ拂ハシムル方便ニ過キサレハ縱令本人力之ヲ拂
 ハサルモ物品ヲ賣却シテ自分ノ權利ヲ満足スルヲ得サルナリ

扱代理人ノ引留權ハ通常特別ノ引留權ナリト云ヘルカ是レニ例外ア
 リ

此一般ノ引留權ヲ有スル人ニ就テ一二ノ例ヲ舉グレハ

第一 代理人

(三) Proceeds of sale.

(一) Banker.

(四) Insurance Brokers.

(二) Factors or Commission Merchants.

代理人ハ訴訟事件ニ付テ立替エタル訴訟入費ニ付キ一般ノ引留權ヲ
 有ス即チ依頼人ヨリ數事件ヲ依頼サレ其中ノ何レノ件ニテモ入費ヲ
 拂ハサルトキハ他件ノ訴訟書類ヲ引留ムルヲ得ヘシ
 第二銀行^(一) 銀行ハ貸金ノ抵償トシテ預ケ金又ハ抵當物ヲ引留ムルコ
 トヲ得又賣買仲人^(二)ノ如キモ亦一般ノ引留權ヲ有スルナリ而シテ賣買
 仲人ハ荷主ヨリ預リタル物品ノ賣拂代金ニ對シテモ亦引留權ヲ有ス
 是レ他ノ代理人ト異ナル所ナリ尋常ノ代理人ニ在リテハ只物品ニ付
 キ引留權アリト雖モ賣買仲人ハ物品ノミナラス其賣却代金^(三)ニ就テモ
 亦引留權ヲ有スルモノナリ
 又保險^(四)周旋人ハ其營業ノ慣習ニヨリテ自己ト依頼人トノ間ノ保險諸
 勘定ニ付キ保險證書ニ對シテ引留權ヲ有スルナリ即チ自己ノ受クヘ
 キ手數料又ハ保險料ノ立替金等アリテ依頼人之ヲ支拂ハサル間ハ依

頼人即ち本人ノ名前ニテ受取リタル^(五)保險證書ヲ引留ムル權利アルナ
リ
乍併一般ノ引留權ハ通常同一ノ事業又ハ同様ナル事業ヲ爲シタルヨ
リ代理人ノ受クヘキ手數料等ニ付テ存スルモノニシテ全ク異種類ノ
モノニ付受クヘキ手數料立替料ノ爲メ存スルモノニ非ス一例ヲ舉ク
レハ賣買仲人カ物品賣買ノコトヲ委任セラレテ賣買ニ付キ自己ノ受
クヘキ口錢及立替料アレハ本人ヨリ賣買ノ爲メ預カリタル物品ニ對
シ引留權ヲ有スルコトナレトモ若シ本人ヨリ生命保險ノ事ヲ委嘱セ
ラレタルトキハ保險事務上受取ルヘキ口錢又ハ手數料ニ付キ賣買ス
ヘキ物品ヲ引留ムルコトヲ得ス是レ賣買ト保險トハ事業ノ種類ヲ異
ニスルヲ以テナリ
サテ代理人ニ引留權アルコトハ代理人ヨリ本人ニ對シテ金錢ヲ請求

本注生
人ス意
ルヨノ
責リ不

(-)Negligence.
(二)Wrongful Act.

スルノ權利ヲ妨害スルモノニアラス即チ代理人ハ引留權ヲ有スルコトナレトモ必スシモ此權ニ由リ支拂ヲ強ユルヲ要セス直ニ本人ヲ訴ヘテ立替金等ヲ請求スルコトヲ得ルナリ

本人若クハ主人ハ代理人又ハ奴僕ニ對シテ自己ノ不注意及不正ノ處爲ニ付キ責任ヲ有スルモノトス乍併此事ハ本人代理人ノ關係ニ特種ナルモノニアラス即チ關係ノ有無ニ拘ハラス甲タル者ハ自己ノ懈怠不注意ニヨリ乙ニ損害ヲ加エタル時ハ之カ責任ヲ負ハサルヘカラサル原則ノ適用ノ一例タルニ過ス前ニ申述タル通り代理人ノ起原ハ奴隸ニシテ其奴隸カ追々進化シ奴僕トナリ代理人トナリタル時代ニハ自分一己ニ權利義務ヲ有スルニ至リ從テ本人若クハ主人ニ對シテ契約上若クハ私犯上ノ權義ヲ生シタレハ主人若クハ本人ハ其奴僕又ハ代理人ニ對シテ責任ヲ負フヘキハ勿論ナリ

然ルニ同一主人ノ下ニ使役セラル、奴僕間ニ在リテ一人カ不注意ニ
因リ他人ニ損害ヲ與ヘタルトキハ其本人タル者カ被害ノ奴僕ニ對シ
テ責任ニ任スヘキヤ否ヤノ問題起ルナリ尤モ是等ハ私犯法ニテ委シ
ク聽聞セラルヘキカ故ニ爰ニハ只大要ヲ述置クヘシ此場合ニ於テハ
本人ノ第三者ニ對シテ責任ヲ帶フル理由ヲ適用スルコトヲ得ス蓋シ
奴僕等カ同シク主人ノ命ヲ受ケテ共ニ働ク時ハ自己ノ身邊ニ現存ス
ル事相ハ何彼トナク之ヲ知ルモノ若クハ知り得ルモノナリ即チ自己
ノ仕事場ノ有様共稼キ人ノ所爲等ハ皆現ニ耳目ニ觸ル、モノナルカ
故ニ其安全ナリヤ將タ危険ナリヤヲ知ルコトナリ之ヲ知ルカ故ニ若
シ危険ナル場合ニ逢遇スルトキハ自カラ危害ヲ避クルノ方便ヲモ有
スルモノナリ之ニ反シテハ主人ハ終始奴僕等ニ附添居ル者ニ非サレ
ハ彼此ヲ保護スルノ道ヲ得ルコト甚タ難キコトナリ故ニ今日ニ在リ

テハ共役奴僕ノ一人カ他ノ一人ニ損害ヲ加ヘタル時ハ其本人責ニ任
セストノ規則アリ但シ本人ノ不注意ヨリ損害ヲ生セシタル時ハ例外
トシテ本人其責ニ任スルコトアリ
主人自身ニ懈怠アル時ハ共役奴僕ノ一人ニ懈怠アリトシテ主人其責
ヲ免カル、トナ得ス然レトモ此規則ハ強テ本人代理人ノ關係ニ特殊
ナルモノニアラス總テ土地ヲ所有スル人ハ其土地内ニ用事アリテ來
リタル人ニ向テ相當ノ保護ヲ爲スヘキ義務アリテ若シ落穴ヲ造リ入
來人ニ害ヲ與ヘタルトキハ土地ノ所有主其責ニ任スルト一般ノ理由
ニ基クモノナリ而シテ如何ナル時ニ主人ニ懈怠アルカヲ研究スルヲ
必要トス即チ第一ニ主人ハ自己ノ土地家屋若クハ器械器具ニ不完全
ナル處アルカ爲メニ奴僕損害ヲ受ケタル時ハ主人ニ懈怠ノ責アリト
ナセリ但シ主人ニ於テ不完全ノ點アルコトノ現實知得ルカ又ハ知得

スヘキコトヲ知得セサル時ニ限ルモノトス此點ニ付テハ英國ニ條例
アルヲ以テ後ニ詳説スヘシ第二主人若シ職業ニ適セサル奴僕ヲ雇入
ルハカ若クハ雇入後ノ不適任ナルコトヲ覺知シツ、引續テ之ヲ使用
シ依テ以テ他ノ奴僕ニ損害ヲ加エタルトキハ主人其責ヲ負ハサルヘ
カラス例ヘハ蒸氣機關ヲ使用スルコトヲ知ラサル人ヲ用ヒ又其不能
ノ人タルコトヲ知ルモ依然使用シタルカ爲メ他人ヲ害シタル時ノ如
シ
又其役奴僕ノ一人カ他ノ仲間ノ所爲ニ對シテ自己ヲ保護スルノ方便
ハ其奴僕等カ同等人ニ屬スル時ニ多クシテ若シ一方ノ位地ハ優等ニ
テ一方ハ劣等ノ地位ニ居ル時ハ最モ寡キナリ乍併通常共役奴僕トハ
同一ノ主人ニ雇使セラレ同一ノ監督ヲ受ケ又同一ノ人ヨリ委任權及
ヒ報酬ヲ受クルモノヲ謂フ以上ノ事實アルトキハ假令等級職業ニ差

(一) Employers' Liabilities Act.

異アルモ共役奴僕タルコトナリ
前述セルカ如ク千八百八十年英國ニ於テハ使役者責任條例ヲ發布シ
現時ニ在リテハ之ニ據リテ奴僕ノ所爲ニ付キ主人ノ責任如何ヲ決定
セリ而シテ其條例ノ適用甚廣ク其第一條ヲ見レハ總テ手職人日雇人
丁稚等皆此中ニ入り唯此適用外ニ在ルモノハ水夫及下男下女ノミナ
リトス今此條例ニ依レハ主人タルモノハ左ノ四箇ノ場合ニ於テ責任
ヲ負ヘリ
第一損害ハ監督權ヲ有セル共役奴僕ノ懈怠ニヨリテ生シタル時
第二被害者ハ爲害者ノ命令ニ從フノ義務アリテ其命令ニ從フタルヨ
リ害ヲ受ケタル時
第三主人ノ設立セル規則ニ從テ爲シタル行爲若クハ不爲ヨリ損害ノ
生シタル時又ハ主人ヨリ特別ノ命令ヲ受ケテ爲シタル行爲又ハ不爲

ニヨリテ損害ノ生シタル時
第四損害ハ鐵道ニ關スル相圖ヲ主トル人又ハ機關車列車ヲ取扱フ人
ノ懈怠ヨリ生シタル時
此等ノ場合ニ於テハ被害者若クハ被害者ノ死去セシ時ハ其相續人ヨ
リ主人ニ對シテ損害賠償ヲ要求スルコトヲ得其損害賠償ノ計算法ハ
亦條例ニ據リテ規定セラレ同地方ニ於テ同一若クハ同様ノ事業ヲ取
リテ同一ノ等級ニ居ル人ノ得ヘキ利益ノ平均高但シ損害前三年間ノ
利益ノ平均高ヲ以テ其標準トセリ乍併若シ第三ノ場合ニ於テ其規則
若クハ命令カ不相當ナラサルトキハ假令其命令ニ從ヒタル爲メニ損
害ヲ生スルモ本人之カ責ニ任セサルナリ又若シ奴僕ハ危害ノ恐レア
ル事實ヲ發見シ乍怠リテ之ヲ主人ニ報告セサルカユハニ損害ヲ蒙
リシトキハ主人其責ニ任セス又主人ヲシテ其責ニ任セシムルニハ其

損害ヲ受ケタル報知ヲ六週間内ニ主人ニ與ヘ而シテ六ヶ月間ニ訴訟
 ナ起サ、ルヘカラス但シ被害者死去セシトキハ出訴ノ期限ハ一ヶ年
 以上ハ使役條例ノ大趣意ナリ
 サテ此法律ニ依レハ英國ニ於テハ主人カ責任ヲ負フ場合ハ自己ニ懈
 怠アル時或ハ監督權ヲ委任セシ人ニ懈怠アルトキニ限ルモノ、如シ
 此規則ノ一ノ取除ケハ鐵道ノ瀛關車若クハ列車ヲ取扱フ人ノ懈怠ヨ
 リ生スル損害ニ付キ責任ヲ帶フルコト是ナリコレハ瀛車ノ危害大ナ
 ルカ故ニ特別ニ主人ニ重任ヲ負荷セシメタルモノナラン
 凡ソ主人カ共役奴僕ノ所爲ニ付キ他ノ共役奴僕ニ對シテ責任ヲ負ヒ
 又負ハサルコトハ給料ヲ受ケサル奴僕ニモ亦適用スルコトナリ故ニ
 他人カ好意ヲ以テ給料ヲ受ケ居ル奴僕ノ手助ヲ爲スノ際偶々害ヲ蒙

代理法/菊池武夫(講義)；山口正毅(編輯)

(英吉利法律講義録 (1886 (明治 19) 年度 第 1 年級))

113 ページから 124 ページの講義録 (14 号) は非所蔵

即チ付帶契約ニ背ク時ハ自然第三者ニ對シテ其責ニ任セサルヘカラサルハ勿論ナレハナリ
此規則ハ縱令代理人眞實ニ自己ノ權限内ナリト信用シテ爲シタル時ニモ適用スルモノナリ若シ第三者本人ニ對シテ訴ヲ起シ代理人ノ爲シタル契約ハ其權外ニ亘ルノ故チ以テ敗訴シタル時ハ代理人其訴訟費用ヲ第三者ニ拂フノ義務アルモノナリ但シ第三者カ代理人ノ所爲越權ナルヲ知ルトキハ代理人此責任ヲ負ハス又本人ノ死去ニ由リテ代理權消滅シタルニ代理人之ヲ知ラスシテ契約シタル時ハ代理人自ラ責任ヲ負ハス右ハ英國ニ特別ナル規則アリテ人ノ死去ハ公ケノ事實トシ誰モ知ラサルヘカラサルコトニ定リアレハ第三者モ本人ノ死去ヲ知ラサル可ラサルユヘ從ヒテ代理權ノ消滅ヲ知ル筈ナレハ代理人ニ於テ責任ヲ負ハサルナリ此事ハ余程笑シキ理窟ニシテ是頃條例

本人ニ對
スル第三
者ノ責任

(u) Liability of Third Persons
(z) Reciprocal Obligation

代理人ニ
對スル第
三者ノ責任

ヲ以テ制限セシモノナリ

(u) 第三者ノ責任

(z) 本人ニ對スル責任

本人カ第三者ニ對シ責任ヲ負フ場合ニハ第三者ハ亦本人ニ對シテ責
任ヲ負フヘシ即チ第三者ト本人トノ間ニハ相互ノ責任アルモノナリ
若シ又其反對ニテ代理人ノ爲シタル契約ニ付キ本人ハ第三者ニ對シ
責任ヲ負ハサル場合ハ第三者モ又本人ニ對シ責任ヲ負ハサルナリ例
エハ流通證書若クハ捺印契約ノ場合ニ於テ若シ代理人カ署名ノ場所
並ニ本文若クハ其一ニ本人ノ名ヲ記セサル時ハ本人ハ其責任ヲ負ハ
サル規則ナルカ故ニ斯カル場合ニハ本人ヨリ第三者ニ對シ該契約ニ
付キ訴テ起スヲ得ス又第三者モ本人ヲ訴フルヲ得サルナリ

代理人ニ對スル責任

上ニ申シタル如ク本人カ代理人ノ契約ニ付キ責任ヲ負ハサル場合ハ代理人自ラ責任ヲ負ハサルヘカラス反對ヨリ云ヘハ右ノ場合ニテハ第三者ハ代理人ニ對シテ責任ヲ負フモノナリ又代理人カ己ノ名ヲ以テ通常ノ契約ヲ爲スカ或ハ又特ニ代理人ヲ信認シタルトキハ第三者ハ代理人ニ對シテ責任ヲ負フモノナリ
斯クノ如キ場合ニハ第三者ハ本人ニ對シテモ責任アルヲ事由トシテ代理人ニ對スル責任ヲ免ル、コトヲ得ス曾テ申シタル如ク通常契約ノ場合ニ於テ代理人カ自己ノ名ヲ以テ契約シタルトキハ第三者ハ代理人ヲ訴ヘ得ルハ勿論若シ後日本人アルコトヲ知りタルトキハ本人ヲモ訴フルコトヲ得ルカ故ニ其反對ニテ代理人ハ第三者ヲ訴ヘ得ルハ勿論本人モ亦第三者ヲ訴ヘ得ルモノナリ
以上ニテ代理ノ關係ヨリ生スル權利義務ヲ説明シタレハ以下代理ノ

(12) Revocation of Authority

(13) Dissolution of Agency

代理關係ノ消滅

關係消滅スル方法ヲ述ヘントス

代理關係ノ消滅

代理ノ關係ハ種々ノ方法ニテ消滅ス

第一委任權ノ取消

委任權ヲ與フルノ權アルモノハ亦之ヲ取消スノ權アリ通常本人タル

モノハ何時ニテモ己ノ欲スル時委任權ヲ取消スコトヲ得ルモノナリ

代理人カ委任權ヲ受ケテ未タ委任ノ執行ニ着手セサル間ハ本人ニ於

テ何時ニテモ委任權ヲ取消スコトヲ得然シ乍ラ代理人半ハ委任ノ事

柄ヲ執行シタルトキ其執行ノ部分ト殘リノ部分トチ分チ得ルトキハ

本人ハ未タ執行シ盡サル部分ヲ取消スコトヲ得レトモ若シ其事柄

カ分ツヘカラサル事柄ニテ執行セサル部分ニ就キテ委任權ヲ取消ス

トキハ代理人ニ損害ヲ與フル場合ナレハ代理人ニ相當ノ賠償ヲ爲サ

(註) Interest in the
Execution of
Authority

レハ委任權ヲ取消スコトヲ得ス
乍併若シ代理人カ委任權ノ執行ニ付キ利害ヲ有スルトキハ本人ハ已
レノ隨意ニ委任權ヲ取消スコトヲ得ス例エハ負債主カ債主ニ委任狀
ヲ與エテ已レノ財産ヲ賣却スル權ヲ與エタル場合ノ如キニ至リテハ
負債者ハ隨意ニ其委任權ヲ取戻スヲ得ス何トナレハ自分ノ負債ヲ拂
ハサルトキハ財産ヲ賣却シテモ差支ナシト申シタルモノニテ委任權
ハ抵當ノ効力アルカユヘニ委任權ヲ取消スハ其抵當ヲ取戻スト同様
ニシテ大ニ債主ノ利益ヲ損スレハナリ
扱本人カ委任權ヲ取消スニハ包意ヲ以テスルコトアリ又明意ヲ以テ
スルコトアリ委任權ヲ授クルトキハ捺印證書ヲ用フルモ取消ストキ
ハ口上ニテ取消スコトヲ得
又代理委任ノ取消ハ本人ノ所爲ニ由リテ生スル場合アリ例エハ委任

シタル事柄ヲ執行セシムル爲メニ更ニ他ノ代理人ヲ命シタルトキノ如キハ前任ノ代理人ノ權限消滅スルコト往々アリ併シ是レトモ常ニ適用セラル、モノニアラス隨分委任ノ事柄ニ依リテハ數人ノ代理人ヲ要スルコトアリ例エハ貸金催促チ一人ニ委任スルヨリハ數人ニ委任スル方便利ナル場合モアレハ敢テ常ニ適用スルモノニアラスシテ時ト場合ニ由リ異ナルヘシ前述ハ只一般ヲ云フタルノミ

第二委任權ノ拋棄

此場合モ本人カ委任權ヲ取消ス時ト同様未タ委任權ヲ執行シ始メサル時ハ代理人ハ何時ニテモ其權ヲ拋棄スルヲ得乍併拋棄スルニ付テハ豫メ本人ニ通知ヲ與エサルヘカラス若シ半ハ執行シタルトキ委任權ヲ拋棄スルトキハ本人ニ損害ヲ加アル場合ナレハ代理人隨意ニ拋棄スルヲ得ス若シ強テ拋棄セハ本人ニ對シテ損害賠償ノ責ニ任セサ

(ε) Change in the Condition of either party producing the Principal his incapacity.

ルヘカラス
第三本人若クハ代理人ノ能力ノ變動
此場合ニハ本人若クハ代理人カ何等ノ所爲ヲ爲スコト無クシテ代理
ノ關係自ラ消滅ス即チ此關係ハ法律ノ作用ニ由リテ消滅ス然リ而シ
テ身分ノ變更ニ由リ能力ノ消滅スル場合ハ種々ナリ

第一本人ノ身代限 本人ノ身代限ヲ爲シタルトキハ其身代限ニ關
係ヲ及ホスヘキ事件ニ付テノ委任權ハ自ラ消滅ス〔西洋ニテハ身代
限ヲ申渡サレタルモノハ自身ニテ其財産ヲ取扱フコトヲ得ス又商
賣ヲ爲スヲ得スシテ凡テ管財人ノ手ニテ之ヲ取扱フ〕
第二本人ノ瘋癲 本人瘋癲ト爲リタル場合ニテモ勿論財産管理ノ
權ヲ失フモノナルカユヘニ其代表者モ亦權利ヲ失フハ當然ナリ何
トナレハ代理人ノ權限ハ本人ノ分ヨリ大ナルヲ得サレハナリ

(u) Insanity of the Agent (v) Insanity of the Principal
 (z) Bankruptcy of the Agent

第三代理人ノ瘋癲^(u) 代理人瘋癲者ト爲ルトキ亦代理ノ關係消滅ス
 凡ソ本人ノ事務ヲ代理人ニ委任スルハ代理人タル者ノ事理ヲ辨明
 スル方アルニ因ル故ニ代理人此辨明力ヲ失フトキハ代理ノ關係ノ
 消滅スルハ勿論ナリ
 第四代理人ノ身代限^(z) 代理人身代限ヲ爲ストキハ通常本人ニ損害
 ナ與フルノ恐アルトキニ限り此關係消滅ス乍併代理人ハ自分ニ能
 カアルヲ要セサルカ故ニ身代限ヲ爲セハトテ必シモ此結果ヲ生ス
 ルニアラスニ由リ
 第四本人若クハ代理人ノ死去^(z) 本人若クハ代理人ノ死去ハ
 本人若クハ代理人ノ死去シタル時ハ代理權直チニ消滅ス本人ノ死去
 後ニ代理人ノ爲シタル契約ハ凡テ無効ト爲リテ敢テ代理人カ實際本
 人ノ死去ヲ知リタルト否トナ問ハサルナリコハ前回ニモ云ヘル如ク

英國ニ特別ナル制度ヨリ生スル結果ニシテ即チ人ノ死亡ハ公事ニテ何人モ知ラサルヘカヲサル事實ナリト云フニ基ツクナリ爰ハ佛國杯ト大ニ異ナル點ナリ代理人ノ死去モ同ク代理權ノ消滅ヲ爲スモノニシテ其相續人ハ代理權ヲ相續スルヲ得ス何トナレハ代理權ハ代理人ノ身分上ニ特別ナル信用ヲ置クノ結果ヨリ生シタルモノナレハナリ佛國民法ニ依レハ本人ノ死亡ハ直チニ代理權ノ消滅ヲ來サス代理人カ本人死去ノ通知ヲ得テ始メテ消滅スルモノナリ故ニ代理人カ本人死去ノ通知ヲ受クル前ニ取結ヒタル契約ハ全ク有効ナリ又縱令本人死亡ノ通知ヲ得タルモ半ハ委任權ヲ執行シタル後ニシテ殘部ヲ拋棄スルトキハ本人ニ損害アルヘキトキハ矢張繼續シテ完結スルカ代理人ノ義務ト成居レリ佛國民法二千八條千九百九拾一條二千拾條等參看貳千拾條ニ代理人死去ノ時ニ方リテ代理人ノ相續人ハ其旨ヲ本人

(か)Expiration of Period or
Accomplishment of
the Object of Agency

(わ)
Trustee

ニ通知シテ本人ノ利益ヲ保護スル丈ノ手續ヲ爲スヘシトアリ英吉利
ニ於テモ人ノ死去ハ公事ニシテ死去ノ瞬間ヨリ代理權消滅スルトノ
規則ハ儘々困難ナル結果ヲ生スルユヘ條例ヲ以テ幾分ノ制限ヲ設ク
ルニ至レリ其條例ニ由レハ受信託人カ信託者ノ爲メニ好意ニテ取計
フタルコトハ假令信託人ノ死後ニ在ルモ有効ナリ
第五期^(か)限ノ經過或ハ委任權ノ執行濟ミ
例エハ借金ヲ依頼セラレタル代理人ノ權限ハ金ヲ借受クレハ其代理
權自ラ消滅ス又何ケ月間代理ヲ委任シタル場合ニ於テハ其期限到來
スレハ直チニ代理ノ關係自ラ解クルナリ
以上五箇ノ場合ニテ代理ノ關係消滅スルモノナルカ其消滅ハ第三者
ニ其通知ヲ與フルマテハ第三者ニ對シテ效力無キモノナリ但シ本人
ノ死去ニ由リテ代理權消滅スル場合ハ此限ニアラス其死去ノ場合ヲ

除キテハ縱令本人實際委任權ヲ取消スモ其旨ヲ通セサレハ其後ニ代
理人トシテ約シタルコトニ付キ本人ハ第三者ニ對シ責任ヲ生スルコ
トアリ

代理法 大尾